



2004年11月4日 キリスト教学科創立四〇周年記念礼拝



小田 忠夫 学長（初代）



情野 鉄雄 学長（二代）



倉松 功 学長（三代）



小林 淳男 文学部長（初代）



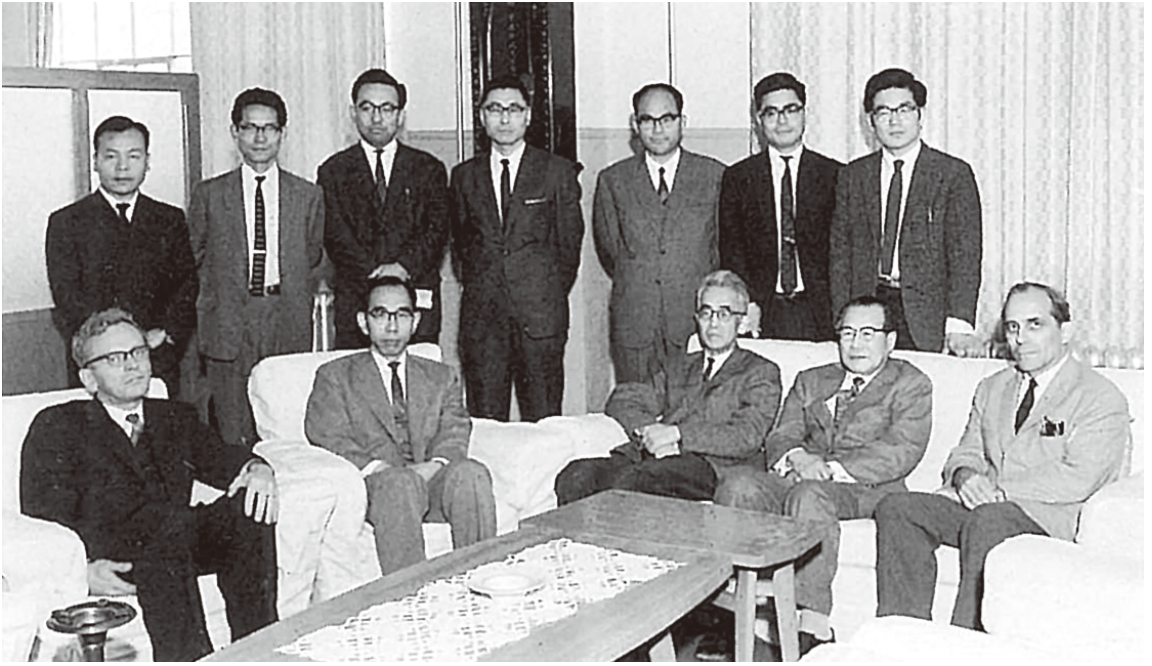
長谷川松治 文学部長（二代）



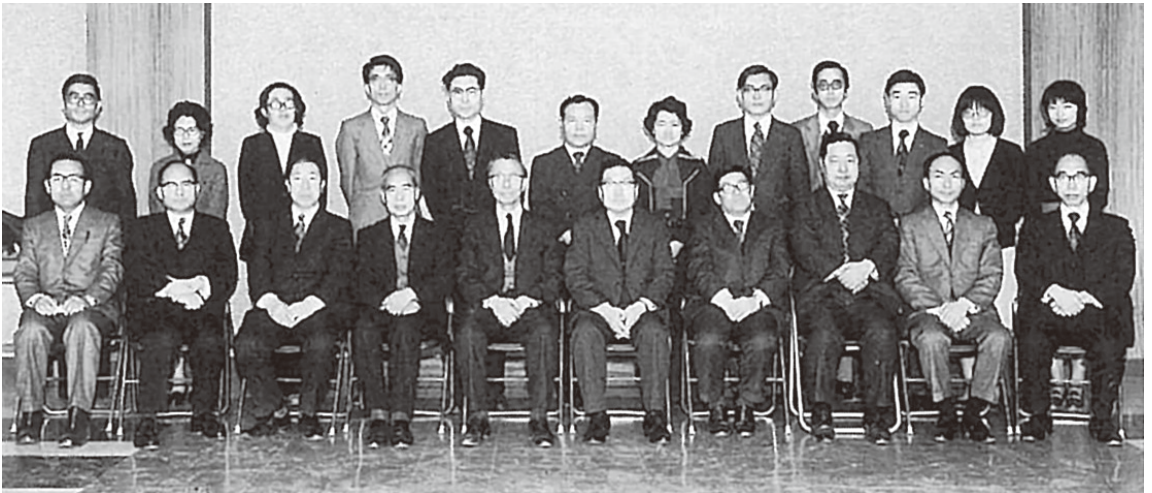
1967年3月 学科会議（於 キリスト教研究所）



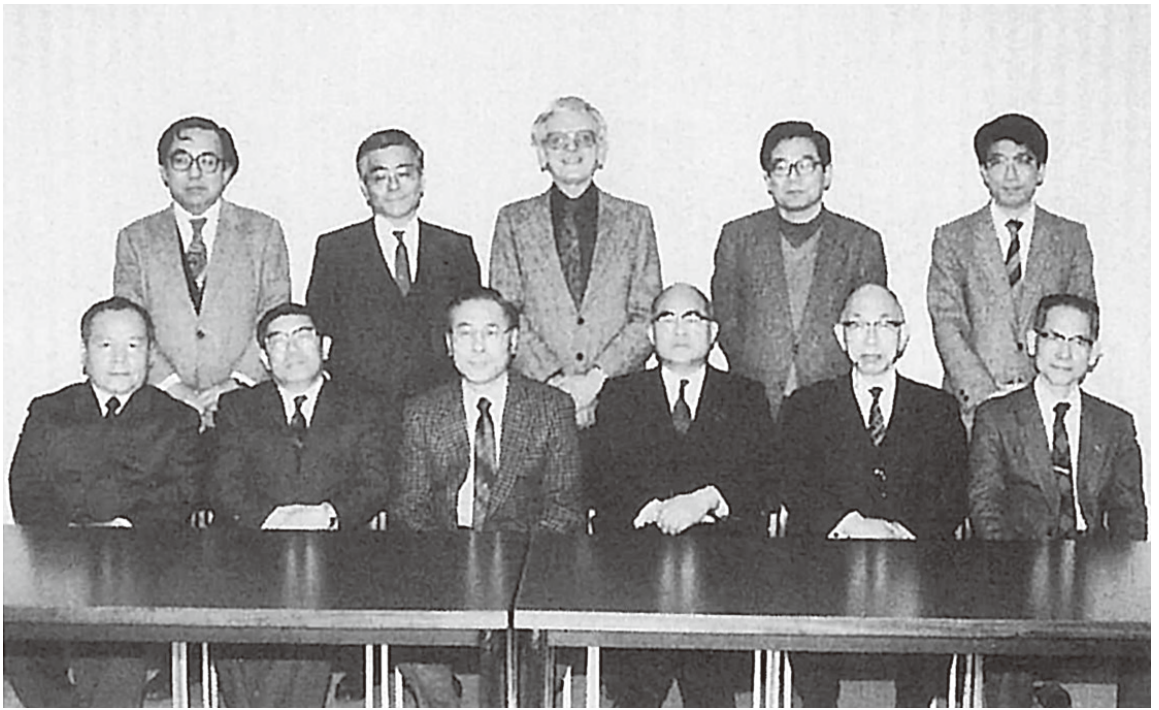
1970年頃 山谷省吾教授（山谷文庫を前に）



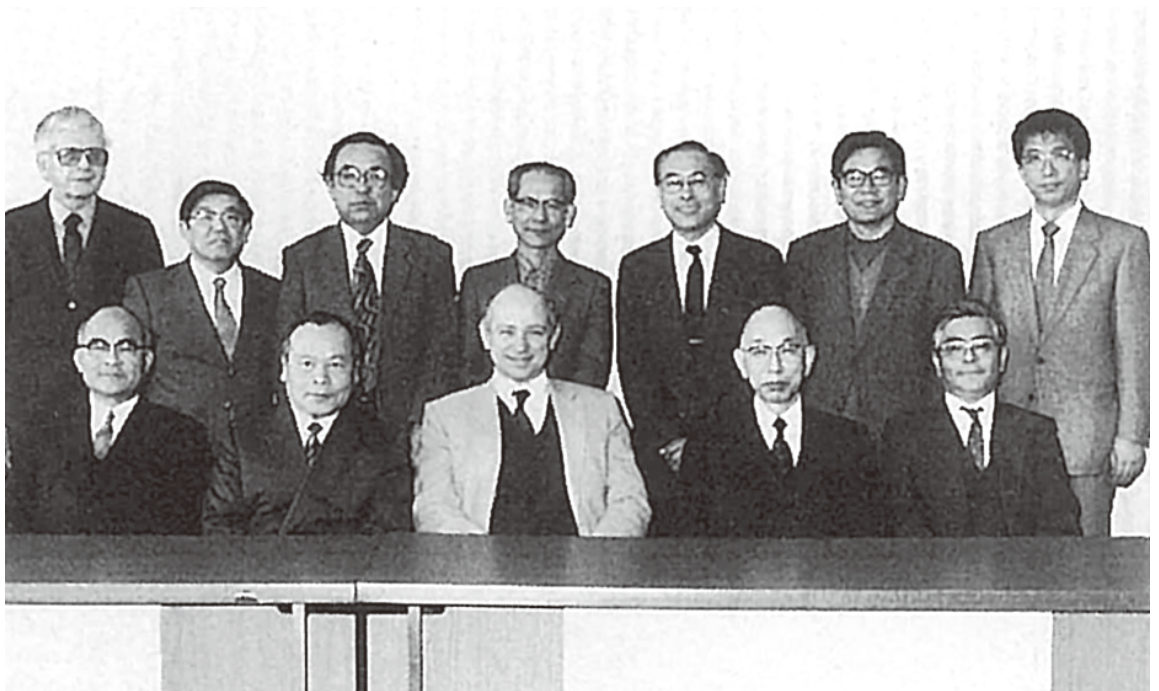
1969年6月 イーデン神学大学ミラー教授歓迎会



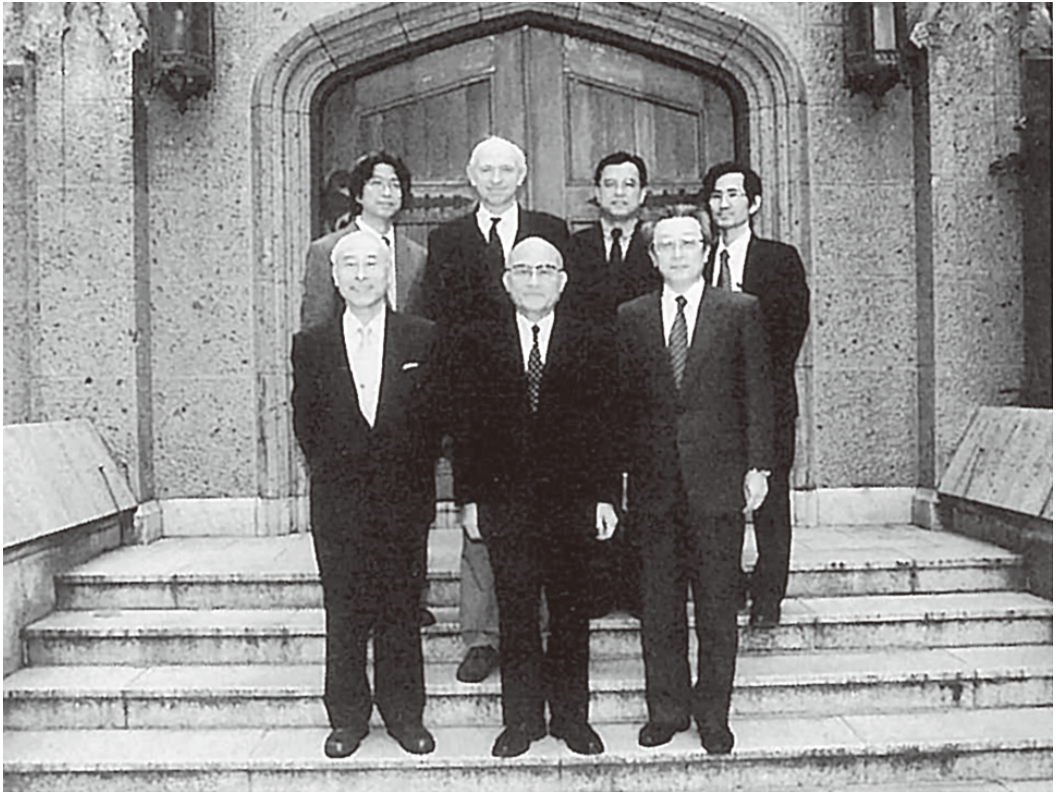
1976年6月 佐藤敏夫教授を迎えて



1988年4月 キリスト教学科教員



1991年4月 キリスト教学科教員



2002年3月 倉松功学長と共に



2004年4月 倉松功院長をかこんで



1986年5月 東北学院創立百周年（旧神学部出身教職と共に）



東北学院大学基督教学科三十周年記念礼拝  
1994年5月13日 於 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂





2003年6月「ファカルティ・フォーラム」後教授と共に



1968年 修養会（青根セミナーハウス）



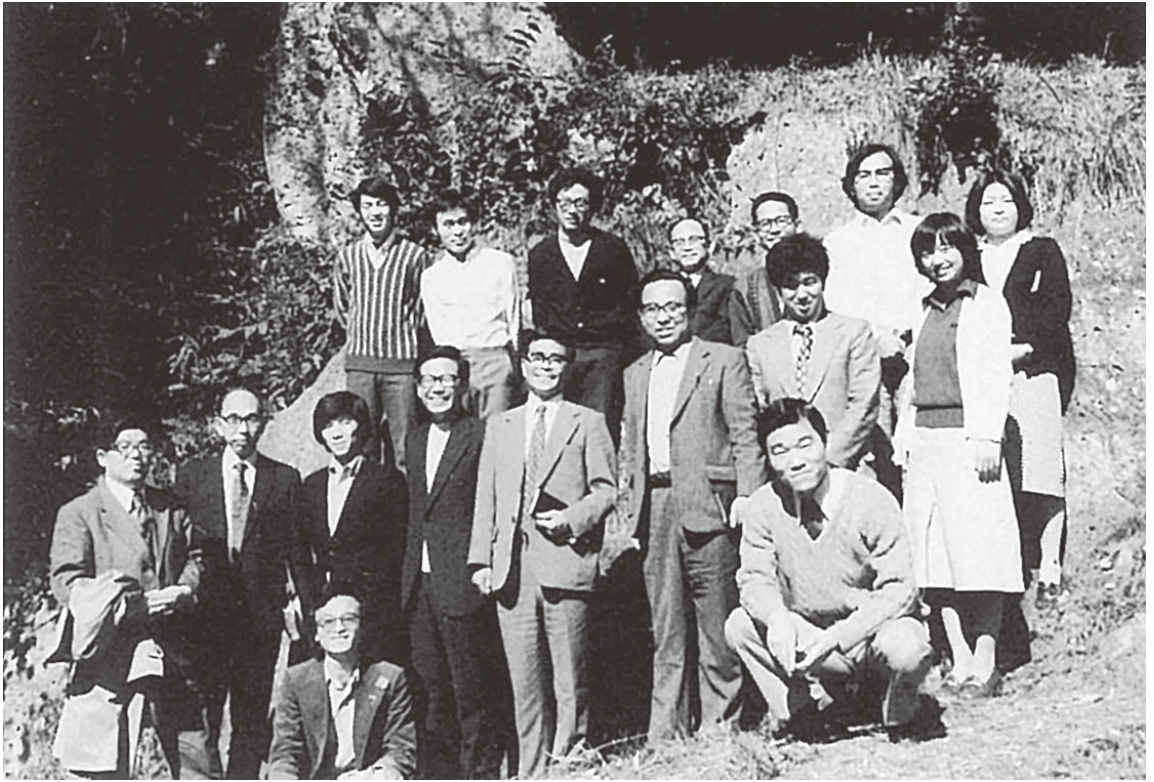
1968年春 福祉希望者講義（出村和子研究室）



1969年5月 親睦山寺ハイキング



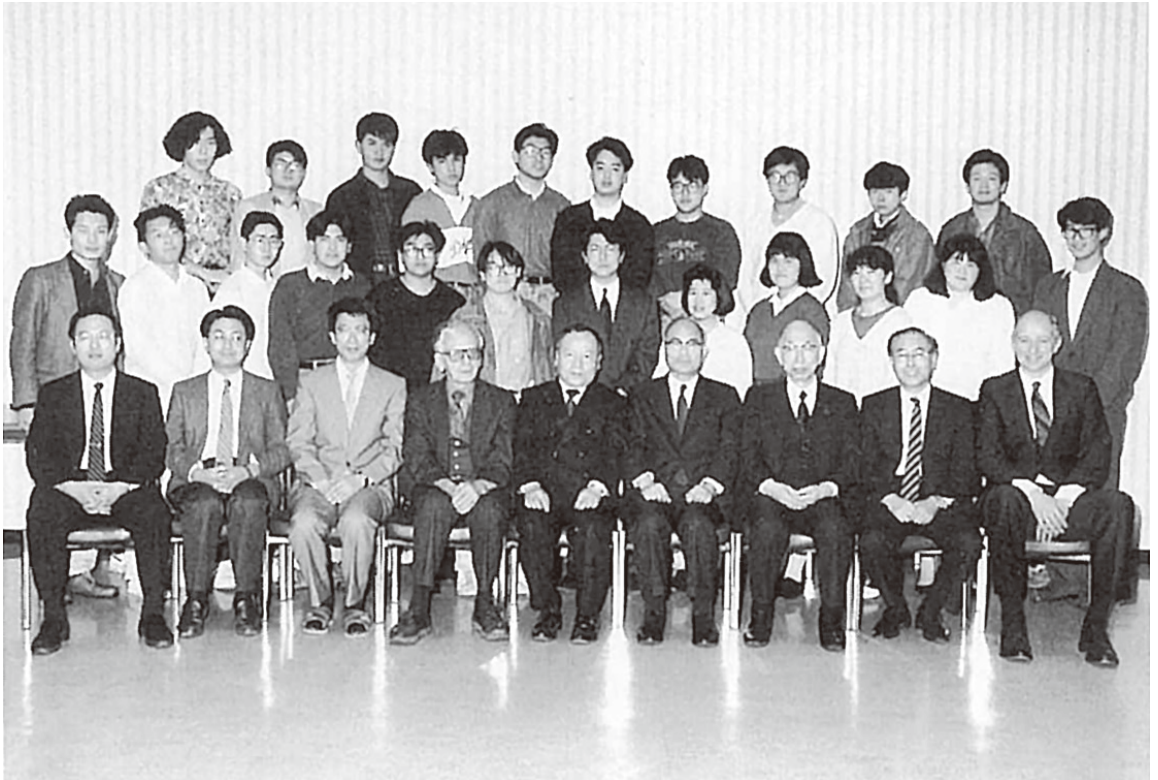
1970年10月 修養会 (作並国際センター)



1978年12月 修養会（松島仙松閣）



1981年7月 聖書セミナー（青根セミナーハウス）



1989年4月 始業礼拝後



1991年4月 始業礼拝後



1992年3月 卒業礼拝後



1992年5月 修養会



1993年4月 始業礼拝後



1994年5月 講義風景(土戸研究室)



1995年3月 卒業生歓送会



1997年 修養会



1998年 教室風景



1998年3月 修養会





1999年3月 卒業生歓送会



2000年3月 卒業礼拝後



2001年3月 修養会（茂庭荘）



2002年度「卒業アルバム」から



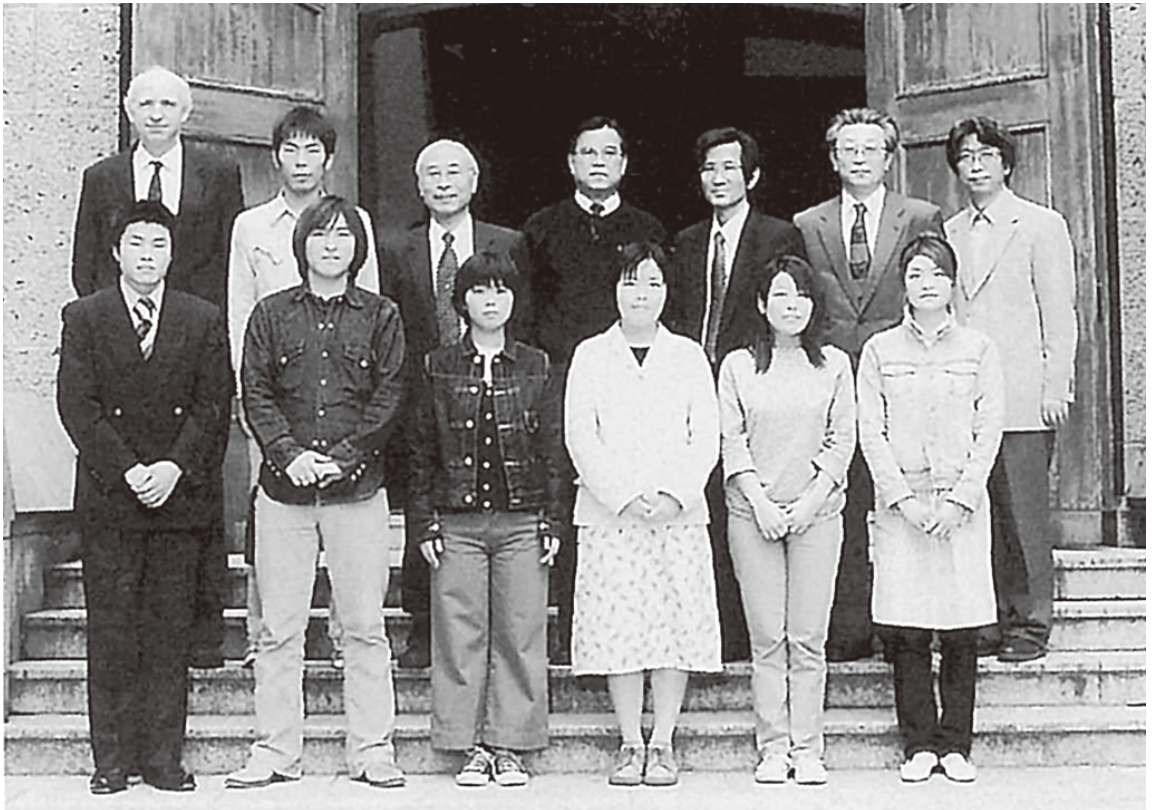
2002年3月 卒業礼拝



2002年4月 始業礼拝後



2003年3月 修養会（茂庭荘）



2003年度 「卒業アルバム」 から



2003年4月 始業礼拝



2004年3月 卒業礼拝



2005年3月卒業礼拝



2006年3月卒業礼拝



2007年3月卒業礼拝



2008年3月卒業礼拝



2008年4月始業礼拝



2010年1月8日「教義学」講義を終えて 4号館の教室





2010年3月卒業礼拝



2010年4月始業礼拝



2013年3月卒業礼拝



2014年3月最後の卒業礼拝

## キリスト教学科（1964年4月～2014年3月）資料

〔以下の資料は「キリスト教学科四〇年史」（『教会と神学』第39号）巻末「資料」に2014年3月までの10年分を加えて作成したものである。〕

### （一） 教員組織の変遷

1966（昭和41）年4月18日 学科会議議事録より

学科主任	教授	小笠原政敏
	教授	赤城 泰
	教授	日下 一
	教授	ウィリアム・C・メンセンディク
	教授	茂泉昭男
	教授	山谷省吾
	助教授	浅見定雄
	助教授	出村 彰
	助教授	倉松 功
	専任講師	川端純四郎
	専任講師	森野善右衛門

1969（昭和44）年度「キリスト教学科案内」（第1号）より

学科主任	教授	茂泉昭男
聖書神学		
新約学	教授	山谷省吾
	教授	ロバート・W・ノーサップ
	講師	土戸 清
旧約学	助教授	浅見定雄
歴史神学		
宗教史	教授	小笠原政敏
キリスト教史	教授	茂泉昭男

	助教授	倉松 功
	助教授	出村 彰
組織神学		
教義学	教授	熊野義孝
	助教授	大崎節郎
宗教哲学	助教授	川端純四郎
実践神学		
キリスト教教育	教授	日下 一
社会事業史	教授	ウィリアム・C・メンセンディク
説教学・牧会学	助教授	森野善右衛門

**1983（昭和58）年3月31日付け「キリスト教学科報告」より**

学科主任	教授	出村 彰
聖書神学		
旧約神学	助教授	浅見定雄
新約学	教授	土戸 清
歴史神学		
キリスト教史		
(古代・中世)	教授	茂泉昭男
(近世・宗教改革)	教授	倉松 功
同上	教授	出村 彰
(英国・米国・日本)	教授	小笠原政敏
組織神学		
教義学	教授	大崎節郎
キリスト教倫理	助教授	佐々木勝彦
宗教史	教授	小笠原政敏
宗教哲学	助教授	川端純四郎
実践神学		
説教学・牧会学	助教授	森野善右衛門
社会事業史	教授	W・メンセンディク
聖書語学・古典語		

ヘブル語	助教授	浅見定雄
ギリシャ語	教授	土戸 清
ラテン語	教授	茂泉昭男

### 1990（平成2）年度「学科案内」より

学科長	教授	土戸 清
聖書神学		
新約学	教授	土戸 清
旧約学	教授	浅見定雄
組織神学		
教義学	教授	大崎節郎
キリスト教倫理学	教授	佐々木勝彦
宗教哲学	助教授	川端純四郎
歴史神学		
教会史	教授	小笠原政敏
	教授	茂泉昭男
	教授	倉松 功
	教授	出村 彰
	教授	デイヴィッド・N・マーチー
実践神学		
説教学・牧会学	教授	森野善右衛門
	教授	W・メンセンディク
集中講義		
キリスト教教育	非常勤	松川成夫
牧会心理学	非常勤	三永恭平

### 1995（平成7）年度「キリスト教学科案内」より

学科長	教授	大崎節郎
聖書神学		
新約学	教授	土戸 清
旧約学	教授	浅見定雄

## 組織神学

教義学	教授	大崎節郎
キリスト教倫理学	教授	佐々木勝彦
宗教哲学	助教授	川端純四郎

## 歴史神学

教会史	教授	茂泉昭男
	教授	倉松 功
	教授	出村 彰
	教授	D・マーチー

## 実践神学

説教学・牧会学	教授	森野善右衛門
---------	----	--------

## 集中講義

キリスト教教育	非常勤	小林政吉
牧会心理学	非常勤	三永恭平
世界宗教史	非常勤	D・リード

**2000（平成12）年度「キリスト教学科案内」より**

学科長	教授	佐々木勝彦
-----	----	-------

## 聖書神学

新約学	教授	土戸 清
-----	----	------

## 組織神学

教義学	教授	佐藤司郎
キリスト教倫理学	教授	西谷幸介

## 歴史神学

教会史	教授	出村 彰
	教授	D・マーチー

## 実践神学

実践神学・説教学	教授	佐藤司郎
キリスト教教育	教授	佐々木勝彦

## 兼担

聖書通論	教養学部教授	佐々木哲夫
------	--------	-------

基礎英書講読	教養学部教授	雨貝行麿
非常勤講師		
旧約学		浅見定雄
		西村俊昭
牧会心理学		大沼 隆
宗教学		川端純四郎
宗教史		柳橋博之

#### 2004（平成 16）年度「キリスト教学科案内」より

学科長	教授	佐藤司郎
聖書神学		
旧約学	教授	北 博
新約学	教授	原口尚彰
組織神学		
教義学	教授	佐藤司郎
キリスト教倫理学	教授	西谷幸介
歴史神学		
キリスト教史	教授	出村 彰
	教授	D・マーチー
実践神学		
説教学・牧会学	教授	佐藤司郎
キリスト教教育	教授	佐々木勝彦
兼担		
英書講読	教養学部教授	雨貝行麿
非常勤講師		
ヒブル語		徳田 亮
ギリシア語		今井誠二
牧会心理学		大沼 隆
宗教学		川端純四郎

## 2010（平成 22）年度「学科会議議事録」より

学科長	教授	原口尚彰
聖書神学		
旧約学	教授	北 博
新約学	教授	原口尚彰
組織神学		
教義学	教授	佐藤司郎
キリスト教倫理学	教授	佐藤司郎
歴史神学		
キリスト教史	助教授	出村みや子
	助教授	村上みか
宗教史	教授	D. マーチー
実践神学		
説教学・牧会学	教授	佐藤司郎
キリスト教教育	教授	佐々木勝彦
兼担		
聖書通論	教養学部助教授	永井義之
ヒブル語	教養学部教授	佐々木哲夫
非常勤講師		
旧約聖書神学		小林祥人
ギリシャ語		新免 貢・今井誠二・萩原 理
キリスト教と芸術		佐々木しのぶ

## (二) 在職教員略歴（アルファベット順・学科関連及び大学役職のみ）

赤城 泰	Ph.D. 日本基督教団正教師	1920（大正 9）年 3 月 28 日生
	1950（昭和 25）年 8 月 1 日	助教授配置換
	1965（昭和 40）年 8 月 1 日	教授昇任
	1967（昭和 42）年 4 月 1 日	宗教主任委嘱（～ 1968 年 2 月 28 日）
	1968（昭和 43）年 3 月 31 日	退職



浅見 定雄 Th.D. 日本基督教団正教師 1931 (昭和6) 年10月12日生  
 1964 (昭和39) 年9月1日 専任講師採用  
 1987 (昭和62) 年4月1日 教授昇任  
 1999 (平成11) 年3月31日 定年退職

出村 彰 Ph.D. 日本基督教団正教師 1933 (昭和8) 年1月12日生  
 1959 (昭和34) 年4月1日 助手採用  
 1972 (昭和47) 年4月1日 教授昇任  
 1982 (昭和57) 年4月1日 基督教学科主任委嘱 (~1989年3月31日)  
 1989 (平成1) 年4月1日 宗教部長委嘱 (~1995年3月31日)  
 1995 (平成7) 年4月1日 副学長任命 (~2003年3月31日)  
 2003 (平成15) 年4月1日 嘱託教授  
 2006 (平成18) 年3月31日 嘱託教授退職

出村 みや子 文学博士  
 2006 (平成18) 年4月1日 助教授採用  
 2011 (平成23) 年4月1日 教授昇任  
 2012 (平成24) 年4月1日 キリスト教文化研究所所長委嘱 (~2016年3月)

原口 尚彰 Th.D. 日本基督教団正教師 1953 (昭和28) 年3月24日生  
 2000 (平成12) 年4月1日 教授採用  
 2005 (平成17) 年4月1日 キリスト教文化研究所所長委嘱 (~2008年3月)  
 2007 (平成19) 年4月1日 キリスト教学科長委嘱 (~2011年3月)  
 2011 (平成23) 年4月1日 総合人文学科学科長委嘱 (~2013年3月)  
 2015 (平成27) 年3月31日 退職

川端 純四郎 文学修士 1934 (昭和9) 年1月13日生  
 1964 (昭和39) 年4月1日 専任講師採用  
 1966 (昭和41) 年4月1日 助教授昇任  
 1999 (平成11) 年3月31日 定年退職

- 北 博 神学博士 1954（昭和28）年10月7日生  
 2004（平成16）年4月1日 教授採用  
 2013（平成25）年4月1日 総合人文学科学科長委嘱（～2015年3月）
- 熊野 義孝 文学博士 日本基督教団正教師 1899（明治32）年5月9日生  
 1968（昭和43）年4月1日 教授採用  
 1973（昭和48）年3月31日 退職
- 倉松 功 文学博士 日本基督教団正教師 1928（昭和3）年9月16日生  
 1959（昭和34）年11月1日 専任講師採用  
 1970（昭和45）年4月1日 教授昇任  
 1976（昭和51）年4月1日 学生部長委嘱（～1991年3月31日）  
 1979（昭和54）年4月1日 キリスト教研究所長委嘱（～1991年3月31日）  
 1991（平成3）年4月1日 副学長任命（～1995年3月31日）  
 1995（平成7）年4月1日 大学長任命（～2004年3月31日）  
 2003（平成15）年4月1日 学院長任命（～2007年）  
 2007（平成19）年3月31日 退職
- 日下 一 日本基督教団正教師 1899（明治32）年8月15日生  
 1960（昭和35）年4月1日 専任講師採用  
 1963（昭和38）年4月1日 教授昇任  
 1961（昭和36）年4月1日 宗教主任委嘱（～1967年3月31日）  
 1976（昭和51）年3月31日 嘱託教授退職
- ウィリアム・C・メンセンディク Ph.D. 1925（大正14）年7月2日生  
 1948（昭和23）年 福音改革派宣教師として来任（～1951）  
 1965（昭和40）年 大学教授委嘱  
 1993（平成5）年3月31日 定年退職
- 森野 善右衛門 神学修士 日本基督教団正教師 1928（昭和3）年12月7日生  
 1966（昭和41）年4月1日 専任講師採用

1987（昭和62）年4月1日 教授昇任

1996（平成8）年3月31日 定年退職

デイヴィド・N・マーチー Ph.D. 1945（昭和20）年7月21日生

1989（平成1）年9月1日 米国合同教会派遣宣教師として着任・教授採用

2016（平成28）年3月31日 嘱託教授退職

村上 みか Dr. theol.

2006（平成18）年4月1日 助教授採用

2011（平成23）年4月1日 教授昇任

2015（平成27）年3月31日 退職

西谷 幸介 Dr. theol. 日本基督教団正教師 1950（昭和25）年2月3日生

1997（平成9）年4月1日 教授採用

2001（平成13）年4月1日 キリスト教文化研究所所長委嘱（～2005年3月）

2008（平成20）年3月31日 退職

ロバート・R・ノーザップ Ph.D. 1924（大正13）年11月23日生

1962（昭和37）年4月1日 米国長老教会派遣宣教師として着任・教授採用

1965（昭和40）年8月31日 賜暇帰米

小笠原 政敏 S.T.M. 日本基督教団正教師 1921（大正10）年11月9日生

1954（昭和29）年3月15日 助教授採用

1963（昭和38）年4月1日 教授昇任

1964（昭和39）年4月1日 基督教学科主任委嘱（～1968年2月28日）

1968（昭和43）年3月1日 宗教主任（後、宗教部長）委嘱（～1989年3月31日）

1994（平成7）年3月31日 嘱託教授退職

大崎 節郎 Dr. theol. 文学博士 日本基督教団正教師 1933（昭和8年）年3月6日生

1967（昭和42）年4月1日 専任講師採用

1976（昭和 51）年 4 月 1 日 教授昇任  
 1995（平成 7）年 4 月 1 日 基督教学科長委嘱（～ 1999 年 3 月 31 日）  
 2000（平成 12）年 3 月 31 日 定年退職

佐々木 勝彦 神学修士 日本基督教団正教師 1944（昭和 19）年 10 月 17 日生

1974（昭和 49）年 4 月 1 日 助手採用  
 1985（昭和 60）年 4 月 1 日 教授昇任  
 1999（平成 11）年 4 月 1 日 基督教学科長委嘱（～ 2001 年 3 月 31 日）  
 2005（平成 18）年 4 月 1 日 キリスト教学科長委嘱（～ 2007 年 3 月 31 日）  
 2008（平成 20）年 4 月 1 日 キリスト教文化研究所所長委嘱（～ 2012 年 3 月）  
 2016（平成 28）年 3 月 31 日 嘱託教授退職

佐藤 司郎 文学博士 日本基督教団正教師 1946（昭和 21）年 11 月 17 日生

1998（平成 10）年 4 月 1 日 教授採用  
 2001（平成 13）年 4 月 1 日 キリスト教学科長委嘱（～ 2005 年 3 月 31 日）  
 2006（平成 18）年 4 月 1 日 中央図書館長委嘱（～ 2010 年 3 月 31 日）  
 2011（平成 23）年 4 月 1 日 文学研究科長委嘱（～ 2013 年 3 月 31 日）  
 2014（平成 26）年 4 月 1 日 嘱託教授委嘱

茂泉 昭男 文学博士 1927（昭和 2）年 2 月 10 日生

1953（昭和 28）年 4 月 1 日 助手採用  
 1965（昭和 40）年 4 月 1 日 教授昇任  
 1968（昭和 43）年 3 月 1 日 基督教学科主任委嘱（～ 1982 年 3 月 31 日）  
 1993（平成 5）年 4 月 1 日 図書館長委嘱（～ 1997 年 3 月 31 日）  
 2000（平成 12）年 3 月 31 日 嘱託教授退職

土戸 清 博士（文学） 日本基督教団正教師 1933（昭和 8）年 3 月 21 日生

1967（昭和 42）年 4 月 1 日 専任講師採用  
 1976（昭和 51）年 4 月 1 日 教授昇任  
 1989（平成 1）年 4 月 1 日 基督教学科長委嘱（～ 1995 年 3 月 31 日）  
 1991（平成 3）年 4 月 1 日 キリスト教研究所所長委嘱（～ 2000 年 7 月 31 日）

1995（平成7）年4月1日 宗教部長委嘱（～1998年3月31日）

1997（平成9）年4月1日 文学部長任命（～2000年3月31日）

2000（平成12）年7月31日 嘱託教授退職

山谷 省吾 文学博士 日本基督教団正教師 1889（明治22）年5月31日生

1966（昭和41）年4月1日 教授採用

1975（昭和50）年3月31日 退職

### 教員在職期間一覧（東北学院就任年代順）

	64	65	66	67	68	69	70	80	90	00	04	06	07	08	15	16	18
赤城 泰	.....																
メンセンダイク	.....																
小笠原 政 敏	.....																
茂 泉 昭 男	.....																
出 村 彰	.....																
倉 松 功	.....																
ノ ー サ ッ プ	.....																
日下 一	.....																
川 端 純四郎																	
浅 見 定 雄																	
森野 善右衛門																	
山 谷 省 吾																	
大 崎 節 郎																	
土 戸 清																	
熊 野 義 孝																	
佐々木 勝彦																	
マ ー チ ー																	
西 谷 幸 介																	
佐 藤 司 郎																	
原 口 尚 彰																	
北 博																	
出 村 みや子																	
村 上 み か																	

## (三) 入学生名簿

	1年次	3年次(編入)
1	1964 及川道子・森田輝彦・八巻亜男	
2	1965 高橋正広・狩野教子	
3	1966 根本洋子・大沼潤子(2年次)	札野朝義
4	1967 布田秀治・古沢義久・梶内宣道・八木橋忠夫 安彦和代・庄司 真	佐々木勝彦
5	1968 鈴木憲治・吉村理恵子	児玉忠夫
6	1969 伊藤博章・鴨 良子	松田和憲
7	1970 小林孝男・馬場淑子	
8	1971 東海林栄芳・渡辺明彦	
9	1972 高橋 明	
10	1973 本名 靖・菅野せつ子・田部育彦・富永和志	
11	1974 0	
12	1975 太田 恵	
13	1976 0	酒井 薫・田中良一
14	1977 0	
15	1978 0	楽間喜美恵
16	1979 0	青山みどり・柴田ひとみ
17	1980 半沢洋一・西海 馨	斎藤 修
18	1981 0	小海 基
19	1982 0	
20	1983 笹森田鶴	菅野正夫・石原敬三
21	1984 小林 隆	三枝千洋・栄 勝代・部 雅二 佐々木早苗
22	1985 0	
23	1986 関 純一	鵜丹谷三千代・佐々木栄悦・高島信子
24	1987 潮田 祐・近藤 歩	西間木 猷
25	1988 桐ヶ窪千鶴子・中家 盾・細田優子・森 淳一	荒又敏徳
26	1989 阿部義也・石川隆志・小地沢浩樹・松村大志 大江博美・佐々木啓一・佐藤洋晴・沢田隆一 上原秀樹	朴 志亨・山田有信・竹迫 之

27	1990	金子周平・大久保真治・川上純平・小池正造	黄 泰学・細川 光
28	1991	石井 徹・風間宣夫・三枝佳奈・佐伯祐司 佐藤繁男・杉岡ひとみ・土谷創造・名古屋 努	佐藤浩之・長尾厚志
29	1992	長谷川忠幸・日野洋介・馬淵契子・森 義夫 大塚 忍・清藤 淳	佐々木 勝
30	1993	秋葉真紀子・新井映美子・荒木 聡・加藤英徳 高田恵嗣・立谷絵里子・常泉昌子・橋浦のぞみ 林雄一郎	佐原玲子
31	1994	愛甲 悟・金丸陽子・松田牧人・小倉素恵 菅原 恵・渡辺きみえ	布施宣義・平井孝次郎・小林真理子 松岡正樹・薩川秀樹
32	1995	磯部之洋・大友ゆみ子・加藤 恵・越山哲也 ベニントン 桃・村上恵美也	吉崎エステル
33	1996	斎藤 瞳・低引満里子・高山律子・田村恵美子	野田 沢
34	1997	江間紗綾香・郡山英明・鎌光祐子	
35	1998	上野玲奈・佐藤史生	鳴原真裕美・相沢美沙希
36	1999	車谷早織・清水史美・滝山結美・樽見真理子 横山由基	
37	2000	金原 守・川上基枝・鈴木大祐・藤 杏子	平賀真理子
38	2001	大谷義弘・深田龍輔・森田純子・山本晃子	平松 潤・渡辺 祐
39	2002	上竹祐子・田中 光・中村美鈴・臂 直道 山口和憲・山田奏土朗	池谷明高
40	2003	阿部倫太郎・佐藤幸司・佐藤充輝・鈴木かおり 津田真奈美・速水康太・保志智利・渡辺顕一郎	塚本恭子・三島秀郎
41	2004	石黒 慧・宍戸 豪・鈴木 新・高橋真莉 竹花牧人・若松久弥	
42	2005	菅野恵子	丹野陽子
43	2006	青木紋子・阿部 滋・菊田裕子・新田恭平 秦 貴詞	荒木富益
44	2007	赤井 慧・阿部正和・太田裕吾・久保木春賀 小豆嶋紹寛・鈴木契太・二戸源太・吉田 広 立石 彰	渡辺圭太郎
45	2008	岩崎真美・木下菜美子・長谷部 真・早坂優希 吉岡映里	荒井偉作・伊藤理恵
46	2009	井口真樹・池田信彦・上田明梨・鈴木浩太 金子敬宏・後藤優佳・佐々木翔太・我妻雪子	
47	2010	秋葉美里・石川 礎・大宮陽平・栗山 陸 羽賀大起・芳賀奈音美・松野敦士・山本禎之	
48	2011	0	
49	2012	0	庄子裕一・疋田 充・北村清太郎

## (四) 卒業生名簿

1	1968	迫川（及川）道子・札野朝義・八巻亜男・森田輝彦
2	1969	佐々木勝彦・菅原（狩野）教子・高橋正広
3	1970	大沼潤子・児玉忠志・山本（根本）洋子
4	1971	梶内宣道・斎藤（八木橋）忠夫・阪田（安彦）和代・布田秀治・松田和憲
5	1972	庄司 真・山本（吉村）理恵子
6	1973	鴨 良子・鈴木憲治
7	1974	小林孝男・真籠（馬場）淑子
8	1975	東海林栄芳
9	1976	0
10	1977	高橋 明・本名 靖
11	1978	高谷（富永）和志・田部郁彦
12	1979	酒井 薫・野宮（太田）恵
13	1980	紺野（染間）喜美恵・田中良一
14	1981	工藤（柴田）ひとみ
15	1982	青山みどり・斎藤 修
16	1983	小海 基
17	1984	西海 馨・半沢洋一
18	1985	石原敬三・菅野正夫
19	1986	石原（栄）勝代・小野（佐々木）早苗・三枝千洋・薮 雅二
20	1987	笹森田鶴
21	1988	鶴丹谷三千代・小林 隆・佐々木栄悦・渡部（高島）信子
22	1989	西間木 献
23	1990	関 純一・荒又敏徳
24	1991	潮田 祐・近藤 歩・竹迫 之・朴 志亨・山田有信
25	1992	桐ヶ窪千鶴子・中家 盾・黄 泰学・細田優子・森 淳一
26	1993	阿部義也・上原秀樹・東地（大江）博美・佐々木啓一・佐藤浩之・佐藤洋晴・長尾厚志・松井（小地沢）浩樹・松村大志
27	1994	大久保真治・小池正造・佐々木 勝・細川 光
28	1995	石井 徹・風間宣夫・金子周平・佐伯祐司・佐原玲子・松岡ひとみ・塚本（三枝）佳奈・土屋創造・名古屋 努



29	1996	大塚 忍・村上(小林)真理子・薩川秀樹・清藤 淳・名古屋(馬淵)契子・長谷川忠孝・平井孝次郎・布施宣義・松岡正樹・森 義夫
30	1997	武山(秋葉)真紀子・新井映美子・荒木 聡・石原エステル・加藤英徳・高田恵嗣・立谷絵里子・常泉昌子
31	1998	愛甲 悟・金丸陽子・菅原(狩野)恵・野田 沢・林 雄一郎・松田牧人・浅野(菅原)きみえ
32	1999	加藤 恵・越山哲也・ペニントン 桃
33	2000	相沢美沙希・嶋原真裕美・低引満里子・長谷川律子
34	2001	江間紗綾香・斎藤 瞳
35	2002	上野玲奈・平賀真理子
36	2003	佐藤史生・清水史美・滝山結美・樽見真理子・平松 潤・渡邊 祐
37	2004	池谷明高・金原 守・川上基枝・鈴木大祐・藤 杏子
38	2005	森田純子・塚本恭子
39	2006	上竹裕子・田中 光・臂 直道・山口和憲
40	2007	山田奏士朗・阿部倫太郎・佐藤光輝・鈴木かおり・津田真奈美・渡辺颯一郎・丹野陽子
41	2008	宍戸 豪・鈴木 新・高橋真莉・荒木富益
42	2009	菅野恵子・石黒 慧・竹花牧人・渡辺圭太郎
43	2010	青木紋子・菊田裕子・新田恭平・秦 貴詞・荒井偉作・伊藤理恵
44	2011	阿部 滋・吉田 広・立石 彰・鈴木契太・赤井 慧・阿部正和・太田裕吾・久保木春賀・小豆嶋紹寛
45	2012	二戸源太・岩崎真美・長谷部 真・早坂優希・吉岡映里
46	2013	井口真樹・池田信彦・上田明梨・鈴木浩太・後藤優佳・我妻雪子・木下菜美子
47	2014	金子敬宏・佐々木翔太・栗山 陸・羽賀大起・芳賀奈音美・松野敦士・秋葉美里・石川 礎・疋田 充・北村清太郎・庄子裕一
48	2015	大宮陽平・山本禎之

## (五) 東北学院大学「キリスト教学科通信」目次 (1991～2010年)

### 創刊号(1991年)

- 「東北学院大学におけるキリスト教学科の使命」……………学長・情野 鉄 雄  
「キリスト教学科通信刊行にあたって——学科の使命と課題」……………土 戸 清  
「キリスト教学科略史」……………出 村 彰  
(1990年度キリスト教学科報告, 1990年学科教員の諸活動, 卒業生の便り  
から, 基督教学科一年生と編入生紹介, 学事計画, 後記)

## 第2号 (1992年)

- 「新しい時代を担う人びと」……………土戸 清  
 「キリスト教学科によせて」……………茂泉 昭男  
 (1991年度キリスト教学科報告, 1991年学科教員の諸活動, 卒業生の便りから, 基督教学科一年生と編入生紹介, 学事計画, 後記)

## 第3号 (1993年)

- 「日本の宣教と神学教育の課題」……………土戸 清  
 「キリスト教学科へのメッセージ——日本の宣教を終えて」……………W・メンセンディーク  
 (1992年度キリスト教学科報告, 1992年学科教員の諸活動, 卒業生の便りから, 神学 TG 会東京で開催される, 基督教学科一年生と編入生紹介, 学事計画, 後記)

## 第4号 (1994年)

- 「東北学院の建学の精神の中心的担い手として——基督教学科三十周年記念に寄せて」……………学長・情野 鉄雄  
 「学科三十年(仙台神学校以来百八年)を迎えて——新しい神学教育を目指して」……………土戸 清  
 「キリスト教学科へのメッセージ——キリスト教学科で教えて」……………小笠原 政敏  
 (1993年度キリスト教学科報告, 1993年学科教員の諸活動, キリスト教学科のカリキュラム(改正), 卒業生の便りから, 基督教学科三十周年(仙台神学校以来百八年)記念礼拝と記念の集い, 学事計画, 基督教学科一年生と編入生紹介, 後記)

## 第5号 (1995年)

- 「キリスト教学科学科の存在理由」……………学長・倉松 功  
 「キリスト教学科の当面の課題」……………大崎 節郎  
 「キリスト教学科で教えて」……………森野 善右衛門  
 (1994年度キリスト教学科報告, 1994年学科教員の諸活動, 基督教学科三十周年記念礼拝と記念の集いを意義深く守る, 1995年度・キリスト教学科非常勤講師紹介, 卒業生の便りから, 小笠原政敏教授東北学院大学名誉教授に, 学事計画, 基督教学科新入生と編入生紹介, 阪神大震災に学科学生がボランティア活動に参加, 後記)

## 第6号 (1996年)

- 「キリスト教学科と神学教育」……………大崎 節郎  
 「霊と真理をもって礼拝する時」……………土戸 清  
 (1995年度キリスト教学科報告, 1995年学科教員の諸活動, キリスト教学科を去るにあたって(森野善右衛門), 卒業生の便りから, キリスト教学科新入生と編入生紹介, 学事計画, 新讃美歌のこと, 後記)

## 第7号 (1997年)

- 「歴史と伝統を継承して」……………院長・田口 誠一  
 「教職養成の使命」……………大崎 節郎

「カルト問題を考える」…………… 浅見 定雄  
 (1996年度キリスト教学科報告, 1996年学科教員の諸活動, 讚美歌21 刊行,  
 卒業生の便りから, キリスト教学科新入生紹介, 学事計画, 新任の西谷  
 先生のご紹介, 神学 TG 会開催, 後記)

#### 第 8 号 (1998 年)

「激動する社会における神学教育」…………… 大崎 節郎  
 「賛美歌のこと」…………… 川端 純四郎  
 (1997年度キリスト教学科報告, 1997年学科教員の諸活動, 卒業生の便り  
 から, キリスト教学科新入生・編入生紹介, 学事計画, 新任の佐藤司郎  
 先生のご紹介, 後記)

#### 第 9 号 (1999 年)

「本学におけるキリスト教学科の存在理由」…………… 学長・倉松 功  
 「キリスト教学科とは, どんなどころか?」…………… 佐々木 勝彦  
 「バルメン宣言第三項の理解のために」…………… 佐藤 司郎  
 (1998年度基督教学科報告, 1998年学科教員の諸活動, 卒業生の便りから)

#### 第 10 号 (2000 年)

「若者はいるのです! でも, なぜ?」…………… 佐々木 勝彦  
 「生命倫理の一つの話題」…………… 西谷 幸介  
 (1999年度キリスト教学科報告, 1999年学科教員の諸活動, 卒業生の便り  
 から, 鹿児島に遣わされて(布田秀治), 山の上にある町から(庄司 眞),  
 キリスト教学科新入生紹介, 学事計画, 後記)

#### 第 11 号 (2001 年)

「キリスト教学科の教育を考える」…………… 佐藤 司郎  
 「信仰と学問」…………… 原口 尚彰  
 (2000年度キリスト教学科報告, 2000年学科教員の諸活動, 卒業生の便り  
 から, 卒業して十年(竹迫之), キリスト教学科新入生紹介, 学事計画, ブッ  
 クレビュー(佐々木勝彦), 後記)

#### 第 12 号 (2002 年)

「仕えるための教育」…………… 佐藤 司郎  
 「キリスト教学科設立四〇周年を目前にして」…………… 出村 彰  
 (2001年度キリスト教学科報告, 2001年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, キリスト教学科新入生紹介, 学事計画)

#### 第 13 号 (2003 年)

「和解の務めのために」…………… 佐藤 司郎  
 「キリスト教学科設立の話しとキリスト教学科学生への期待」…………… 小笠原 政敏  
 (2002年度キリスト教学科報告, 2001年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, キリスト教学科新入生紹介, 学事計画)

## 第14号(2004年)

- 「バルメン宣言の拓いた道」……………佐藤 司郎  
 「学科創立四〇年を祝して」……………大崎 節郎  
 「キリスト教学科で最初に学んだこと」……………田部 郁彦  
 (2003年度キリスト教学科報告, 2003年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, 新任教員紹介, 新入生紹介)

## 第15号(2005年)

- 「なぜ『総合科目』なのか」……………佐々木 勝彦  
 「黙示文学とは何か」……………北 博  
 (2004年度キリスト教学科報告, 2004年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, 新入生紹介)

## 第16号(2006年)

- 「迷いを生き抜く」……………佐々木 勝彦  
 「啓示と歴史」(英文)……………D・マーチー  
 (2005年度キリスト教学科報告, 2005年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, 後記)

## 第17号(2007年)

- 「時の徴を読む」……………原 口 尚 彰  
 「キリスト教のダイナミズムを教会史に学ぶ」……………出 村 みや子  
 (2006年度キリスト教学科報告, 2006年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから, 後記)

## 第18号(2008年)

- 「聖書の死生観についての随想」……………原 口 尚 彰  
 「与えられた現実のなかで」……………村 上 み か  
 (2007年度キリスト教学科報告, 2007年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから)

## 第19号(2009年)

- 「主と共にあること」……………原 口 尚 彰  
 「詩編143を読む」……………佐々木 勝彦  
 (2008年度キリスト教学科報告, 2008年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから)

## 第20号(2010年)

- 「総合人文学科への改組を前に」……………原 口 尚 彰  
 「H・J・イーヴァント『説教学講義』を読む」……………佐藤 司郎  
 (2009年度キリスト教学科報告, 2009年度学科教員の諸活動, 卒業生の便  
 りから)

## 「総合人文学科通信」目次 (2011年～)

### 第1号 (2011年)

- 「新しい一歩を踏み出す」……………原 口 尚 彰  
 「総合人文学科の発足を祝す」……………学長・星 宮 望  
 「イエスの居られる所」……………理事長・平河内 健 治  
 「思想的源流としてのヘブライズム」……………北 博  
 (2010年度キリスト教学科報告, 2011年度総合人文学科・キリスト教学科  
 活動計画, 卒業生の便りから)

### 第2号 (2012年)

- 「3・11以後の世界に生きる」……………原 口 尚 彰  
 「人間, 土なるもの」……………野 村 信 憲  
 「博士号取得論文執筆を手掛けて」……………松 田 和 憲  
 「思想的源流としてのヘブライズム」……………北 博  
 (総合人文学科・キリスト教学科2011年度活動報告, 2012年度活動計画,  
 2011年度研究業績, 卒業生の便りから)

### 第3号 (2013年)

- 「原点としての2011年3月11日」……………北 博  
 「心を尽くし, 魂を尽くし」……………佐々木 哲 夫  
 「博士号取得論文執筆を手掛けて」……………松 田 和 憲  
 「嘆きを歌い, 希望を確かめつつ」……………上 竹 裕 子  
 (総合人文学科・キリスト教学科2012年度活動報告, 2013年度活動計画,  
 2012年度研究業績, 卒業生の便りから)

### 第4号 (2014年)

- 「忘却と想起」……………北 博  
 「Soli deo gloria」……………池 谷 明 高  
 (総合人文学科・キリスト教学科2013年度活動報告, 2014年度活動計画,  
 2013年度研究業績, 卒業生の便りから)

## (六) 『教会と神学』(第1号—第52号) (1968～2011年)

### 第1号

- 創刊の辞……………小 林 淳 男  
 「シケムからベテルへの巡礼」再考……………浅 見 定 雄  
 カール・バルトにおける神学的思惟の特質……………大 崎 節 郎  
 成人した世界と宣教の問題 —ボンヘッファーの問題提起を中心として— ……森 野 善 右 衛 門

- 書評：Fritz Schmidt-Clausing, *Zwingli*, 1965. …… 倉 松 功  
ツヴィングリ研究読書 …… 出 村 彰
- 第 2 号**
- ルターにおける救済史 (Geschichte des Heils Gottes) 観の構造 …… 倉 松 功  
自然科学と自然の神学 ―一つの対話の試み― …… 森 野 善右衛門  
Christianity in Crisis ―American Style― …… William Mensendiek
- 第 3 号**
- 神学における“Pro me”の問題 …… 大 崎 節 郎  
マルクスにおける宗教の問題 (その 1) ―予備的・資料的考察― …… 川 端 純四郎  
Around the Forbidden Country …… William Mensendiek  
書評：Eric W. Gritsch, *Reformer without a Church*, 1967 他 …… 出 村 彰
- 第 4 号**
- ヨハネ福音書における「人の子」(I) …… 土 戸 清  
教義学形成に対してもつ信仰告白及び聖書学の意義と限界 (I) …… 大 崎 節 郎  
キリスト教に挑戦する第三世界  
―植民地主義とキリスト教の宣教, その価値尺度の問題をめぐって― …… 森 野 善右衛門
- 第 5 号 (キリスト教学科創立 10 周年記念)**
- 神の人 ―エリシャ伝承群と社会層・予備的考察― …… 浅 見 定 雄  
ヨハネ福音書九章の構成 …… 土 戸 清  
ルターにおける *communicatio idiomatum* (属性の共有) について …… 倉 松 功  
カール・バルトの『ロマ書』における神の神性 …… 大 崎 節 郎  
今日の修道を考える ―テゼー共同体の試みを通して― …… 森 野 善右衛門
- 第 6 号**
- カール・バルトの『ロマ書』における宗教の問題 …… 大 崎 節 郎  
W. Pannenberg におけるキリスト教倫理の構造  
―「法の神学」との関連で― …… 佐々木 勝彦  
アムプロシウスの *De officiis ministrorum* の思想とその位置  
―*virtus* の概念を中心として― (I) …… 茂 泉 昭 男
- 第 7 号**
- ヨハネ福音書の研究方法と翻訳の問題 …… 土 戸 清  
ツヴィングリとカルヴァン  
―「シュライトハイム信仰告白」批判を手がかりとして― …… 出 村 彰  
カール・バルトの『ロマ書』における倫理の問題 (I) …… 大 崎 節 郎  
アムプロシウスの *De officiis ministrorum* の思想とその位置  
―*virtus* の概念を中心として― (II) …… 茂 泉 昭 男
- 第 8 号**
- カール・バルトの『ロマ書』における倫理の問題 (II) …… 大 崎 節 郎

- W. Herrmann におけるキリスト教倫理の構造…………… 佐々木 勝彦  
 アウグスティヌスにおける *virtus* の概念の形成と『神の国』の成立 (I) …… 茂 泉 昭 男

## 第 9 号

- カール・バルトの『ロマ書』における倫理の問題 (III) …… 大 崎 節 郎  
 近代神学における「宗教と人間性」の問題  
 —W. Herrmann と P. Natorp の場合— …… 佐々木 勝彦  
 礼拝における奏楽の位置…………… 川 端 純四郎  
 アウグスティヌスにおける *virtus* の概念の形成と『神の国』の成立 (II) …… 茂 泉 昭 男

## 第 10 号

- キリスト教倫理学における「主体性と客観性」の相剋  
 —W. Herrmann と E. Troeltsch— …… 佐々木 勝彦  
 礼拝診断 —10 の指標— …… 森 野 善右衛門  
 Sexuality, Christianity and the Churches …… William Mensendiek  
 アウグスティヌスの『神の国』の多様性と統一性…………… 茂 泉 昭 男

## 第 11 号

- 聖礼典 —宣教論からの一考察—…………… 森 野 善右衛門  
 ツヴィングリとフープマイアー  
 —洗礼のヨハネの救済史的意味をめぐって—…………… 出 村 彰  
 東北伝道の歴史的反省のため…………… 小笠原 政 敏  
 エリヤの後継者エリシャ —列王紀下第二章への 10 の覚え書き— …… 浅 見 定 雄  
 ミュンツァーとルター…………… 倉 松 功

## 第 12 号

- 宗教史の神学 —W・パネンベルクにおける神学概念—…………… 佐々木 勝彦  
 研究ノート：カール・バルトにおけるツヴィングリ …… 出 村 彰  
 Research Note : The New Testament Substructure of Christian Worship …… Richard B. Norton  
 The Responsibility of the Church for Education : Theological Deliberation …… Lee J. Gable

## 第 13 号

- 牧会者の現実と課題…………… 森 野 善右衛門  
 「非神話化」の問題 …… 川 端 純四郎  
 トマス・アクィナスの教育論 —二つの De Magistro を中心として—…………… 茂 泉 昭 男

## 第 14 号

- 復活の神学 —W・パネンベルクのキリスト論—…………… 佐々木 勝彦  
 出事来としての理解をめざして  
 —H.-G. ガダマーにいたる解釈学的思惟— …… 雨 貝 行 磨  
 アウグスティヌスにおける人間論的概念 —心身論を中心として—…………… 茂 泉 昭 男

## 第 15 号 (キリスト教学科創立 20 周年記念)

- バルトとボンヘッフアー (I) …… 大 崎 節 郎

象徴の神学 (I) ——W. パネンベルクの教会論——	佐々木 勝彦
聖霊と教会	森野 善右衛門
ドイツ大学における神学と哲学	雨 貝 行 磨
『セラピオンへの手紙』におけるアタナシウスの聖霊論	関 川 泰 寛
Education and Religion from the Standpoint of Christian Schools in Japan	William Mensendiek
Predigt über Galaterbrief 5, 13-15	倉 松 功
研究ノート：ヤン・ラスキと「ロンドン教会規定」(I)	出 村 彰
アウグスティヌスにおける imago Dei の概念 (I)	茂 泉 昭 男

## 第 16 号

現代の教会と神学に対するバルメン宣言の意義	
—バルメン宣言 50 周年に寄せて—	倉 松 功
信従の神学	佐々木 勝彦
万人祭司と教職制 —牧師は、今日何をなすべきか—	森野 善右衛門
研究ノート：ヤン・ラスキと「ロンドン教会規定」(II)	出 村 彰

## 第 17 号 (東北学院創立 100 周年記念)

「私のあとから来るかた」	西間木 一 衛
ヨハネ福音書 12: 12-19 における文書史料と構成	土 戸 清
アタナシウスの <i>Contra Gentes</i> と <i>De Incarnatione</i> におけるキリスト論の特色	関 川 泰 寛
ルターの問題	倉 松 功
S. カステリオと J. プレンツ ——宗教寛容論の射程をめぐって——	
	出 村 彰
ハイデルベルク教理問答と教義学方法論	大 崎 節 郎
神学における実践の問題 ——Helmut Gollwitzer の神学概念——	佐々木 勝彦
ブルトマンにおける「諸宗教」の問題	川 端 純四郎
E. フックスにおける言語の出来事とイエス	雨 貝 行 磨
説教診断 ——説教評価の基準あれこれ——	森野 善右衛門
Protestant Missionary Perceptions of Meiji Japan	William Mensendiek

## 第 18 号

アウグスティヌスにおける imago Dei の概念 (II)	茂 泉 昭 男
象徴の神学 (II) ——W. パネンベルクの教会論——	佐々木 勝彦

## 第 19 号

ローマ人への手紙 8 章 18 節—27 節の積義的問題	西間木 一 衛
仙台神学校の起源	出 村 彰
教義学の方法	大 崎 節 郎
キリスト教大学における「キリスト教的なるもの」の検討	雨 貝 行 磨

## 第 20 号

エイレナイオスのユーカリスト論	住 谷 眞
アタナシウスにおけるキリストの人間の魂 (その 1)	関 川 泰 寛



- 東北学院神学部と東北伝道諸問題…………… 出 村 彰  
 カール・バルトにおける予定論の刷新 (I)  
 ——福音の総和としての神の恩寵の選び——…………… 大 崎 節 郎  
 Buddhist-Christian Encounter: Reflections on the 3<sup>RD</sup> World Conference of  
 Buddhism and Christianity …………… William Mensendiek
- 第 21 号**  
 カール・バルトにおける予定論の刷新 (II)  
 ——神の業の初めとしての神の恩寵の選び——…………… 大 崎 節 郎  
 交わり診断: ボンヘッファー『共に生きる生活』を手引きとして …………… 森 野 善右衛門  
 The 1948 J3 Experience in Retrospect: A Case Study in Foreign Mission  
 Encounter …………… William Mensendiek
- 第 22 号**  
 アリウス主義の思想的系譜 (その 1) …………… 関 川 泰 寛  
 行動の学としての実践神学…………… 森 野 善右衛門  
 Partnership in Mission: A Japan Case-Study …………… William Mensendiek
- 第 23 号**  
 COME HOLY SPIRIT, RENEW YOUR WHOLE CREATION  
 Reflections on the Seventh Assembly of the World Council of Churches Can-  
 berra, Australia — February 7~20, 1991 …………… William Mensendiek  
 栗林輝夫著『荊冠の神学』を読む (新教出版社, 1991 年)…………… 森 野 善右衛門  
 アウグスティヌス『告白録』の深層 ——挫折と再生の底——…………… 茂 泉 昭 男
- 第 24 号**  
 ミッション・スクール成立の教育史的前提…………… 雨 貝 行 磨  
 PRAYER — FORUM FOR DIVINE-HUMAN ENCOUNTER  
 A Study in Jonathan Edwards …………… David N. Murchie
- 第 25 号**  
 ユダの裏切りの予告伝承の諸問題:  
 ——ヨハネ福音書 13 章 21~30 節における伝承と編集——…………… 土 戸 清  
 CRISTIAN MISSION IN THE 21ST CENTURY IN ASIA…………… Akira Demura  
 Changing Perceptions of Homosexuality in Christianity and the Churches …… William Mensendiek  
 教会の告白と倫理 ——教団生活綱領の再検討を通して——…………… 森 野 善右衛門
- 第 26 号**  
 新しい言葉: ——D・ボンヘッファーの見た説教の幻——…………… 森 野 善右衛門  
 CREATIVITY AND SPONTANEITY IN CHRISTIAN MUSIC  
 A Study in Nineteenth-Century American Revivalism …………… David N. Murchie
- 第 27 号 (キリスト教学科創立 30 周年記念)**  
 神学と教育…………… 大 崎 節 郎

- J. モルトマンにおける聖霊論の構造 (I) …………… 佐々木 勝 彦  
 一世紀のユダヤ教とキリスト教  
 ——ヨハネ福音書におけるアンティ・セミティズムの問題…………… 土 戸 清  
 二つのロマ書注解 ——カルヴァンとエコランパーディウス——…………… 出 村 彰  
 CHRISTIANS AS MINORITY-JAPAN: A CASE STUDY…………… W. Mensendiek  
 HUMAN VIOLENCE ——A Theological Perspective ——…………… D.N. Murchie  
 研究ノート：日本語としての新共同訳聖書 ——旧約の場合——…………… 浅 見 定 雄  
 講演：もはや戦いのことを学ばない ——戦後の初心に帰って…………… 森 野 善 右 衛 門
- 第 28 号**
- J. モルトマンにおける聖霊論の構造 (II) …………… 佐々木 勝 彦  
 “CALVIN VERSUS CASTELLIO ON THE PROBLEM OF RELIGIOUS TOL-  
 ERATION”…………… 出 村 彰  
 The Role of Reason in Understanding Theological Truth…………… D.N. Murchie
- 第 29 号**
- J. モルトマンにおける終末論の構造 (1) …………… 佐々木 勝 彦  
 The Peace Witness of American Mennonites During the Second World War: A  
 Study in the Practical Implementation of the Doctrine of Nonresistance…………… D.N. Murchie
- 第 30 号**
- ニーバーのキリスト教社会倫理の神学的特徴…………… 西 谷 幸 介  
 カール・バルトにおける「サクラメント」の概念 (I)…………… 大 崎 節 郎  
 J. モルトマンにおける終末論の構造 (II)…………… 佐々木 勝 彦  
 WORDS and IMAGES: A Contemporary Dilemma…………… David N. Murchie  
 研究ノート：押川学院長報告書に見る初期東北学院…………… 出 村 彰
- 第 31 号**
- カール・バルトにおける「サクラメント」の概念 (II)…………… 大 崎 節 郎  
 J. モルトマンにおける終末論の構造 (III)…………… 佐々木 勝 彦  
 Just War in the Thought of Francisco de Vitoria (1486-1546)…………… David N. Murchie  
 神の民の選び ——カール・バルトにおける予定論と教会論…………… 佐 藤 司 郎  
 デボラ物語における戦争…………… 佐々木 哲 夫  
 脳死移植の肯定的理解のために ——キリスト教の一立場から…………… 西 谷 幸 介
- 第 32 号**
- J. モルトマンにおける創造論の構造 (II)…………… 佐々木 勝 彦  
 CHARLES G. FINNEY'S DOCTRINE OF SANCTIFICATION…………… David N. Murchie  
 世のための教会 ——カール・バルトにおける教会の目的論…………… 佐 藤 司 郎  
 士師時代の年代決定…………… 佐々木 哲 夫  
 生命倫理を考える ——一試論…………… 西 谷 幸 介
- 第 33 号**
- J. モルトマンにおける創造論の構造 (III)…………… 佐々木 勝 彦

- The Theological Ethics of Helmut Thielicke ..... David N. Murchie  
 政治的共同責任の神学 ——カール・バルトにおける教会と国家..... 佐藤 司 郎  
 死海写本『安息日の犠牲の歌』とヘブル書 1-2 章..... 原 口 尚 彰  
 ミクタム詩編の特徴と起源 (2)..... 佐々木 哲 夫  
 Nipponism ——A Deep Religious Dimension of the Japanese ..... 西 谷 幸 介

## 第 34 号

- キリスト支配的兄弟団 ——カール・バルトにおける教会の秩序の問題..... 佐藤 司 郎  
 J. モルトマンにおける神論の構造 (I) ..... 佐々木 勝 彦  
 米国の牧師また神学者であるジョナサン・エドワーズ ——伝記的序説..... David N. Murchie  
  
 21 世紀の教会の歌をめざして——『讚美歌 21』の神学的・文学的検討 ..... 原 口 尚 彰  
 ミクタム詩編の特徴と起源 (4)..... 佐々木 哲 夫  
 最近のカルヴァン研究について  
 ——ジュネーヴ大学・宗教改革研究所報告..... 野 村 信  
 “Henotheism” Reconsidered ..... 西 谷 幸 介

## 第 35 号

- (2002 年度キリスト教学科始業礼拝説教)  
 発見された人間 (ルカ 19・1~10) ..... 佐藤 司 郎  
 レトリックとしての歴史: 修辞学批評の視点から見た使徒言行録 ..... 原 口 尚 彰  
 「バルトとデモクラシー」を巡る覚え書 ..... 佐藤 司 郎  
 ウィリアム・ウィルバフフォースの生涯と業績  
 ——キリスト教社会改革者・奴隷廃止主義者——..... デイビット・マーチー  
 国際カルヴァン学会..... 出 村 彰  
 アメリカ聖書学会 2002 年度国際大会 / 聖書の言説におけるレトリック, 倫  
 理と道徳的説得に関するハイデルベルク会議 / 2002 年度国際新約学会  
 ダーラム大会報告..... 原 口 尚 彰  
 書 評: *Thomas F. Torrance: An Intellectual Biography* Author-Alister E.  
 McGrath Publisher-T & T Clark, Edinburgh, 1999..... デイビット・マーチー  
 翻訳: W・パネンベルク『人間と歴史』..... 佐々木 勝 彦  
 宗教研対話の意義について..... 西 谷 幸 介

## 第 36 号

- イエス・キリストはユダヤ人である ..... E・ブ ッ シュ  
 使徒言行録におけるペトロの弁明演説..... 原 口 尚 彰  
 「われは教会を信ず」  
 ——カール・バルトにおける教会の存在と時間の問題——..... 佐藤 司 郎  
 American Empire: An Ethical Critique of George W. Bush's *The National Security Strategy of the United States (NSSUS)* ..... D・マーチー  
 J・モルトマンにおける神論の構造 (II) ..... 佐々木 勝 彦  
 Report on the Annual Meetings of the American Society of Church History and  
 the American Historical Association ..... D・マーチー  
 書評: 辻学『ヤコブの手紙』新教出版社, 2002 年 ..... 原 口 尚 彰

## 2002 年度キリスト教学科教員業績

- 翻訳：W・パネンベルク『人間学 (I)』…………… 佐々木 勝彦  
 宗教観対話の意義について (承前)…………… 西谷 幸介

## 第 37 号

- 良い羊飼 い ——ヨハネによる福音書 10 章 11～16 節——…………… 佐藤 司郎  
 韓国キリスト教の歴史と課題：‘危機’と‘変革の機会’…………… 徐 正敏  
 ツヴィングリのマタイ福音書説教 ——試訳と考察——…………… 出村 彰  
 ステファノ演説 (使 7：2-53) の修辞学的分析…………… 原口 尚彰  
 カール・バルトと第 2 バチカン公会議  
 ——とくに教会理解の問題を中心に——…………… 佐藤 司郎  
 書評：Religious Pluralism in the United States：A Review of  
 Kenneth D. Wald, *Religion and Politics in the United States*, Fourth Edition.  
 Lanham, Maryland：Rowman & Littlefield Publishers, Inc., 2003.  
 William R. Hutchison, *Religious Pluralism in America ——The Contentious  
 History of a Founding Ideal.* New Haven：Yale University Press, 2003.  
 John F. Wilson, *Religion and the American Nation ——Historiography and  
 History.* Athens：The University of Georgia Press, 2003. …… デイビッド・N・マーチー  
 2003 SBL International Meeting in Cambridge/  
 2003 年度国際新約学会報告…………… 原口 尚彰  
 翻訳：W・パネンベルク『人間学 (2)』…………… 佐々木 勝彦  
 ニーバーにおける「世界共同体」の神学…………… 西谷 幸介

## 第 38 号

- D・ボンヘッファーの黙想論 ——「説教黙想」との関連において——…………… 佐藤 司郎  
 J・モルトマンにおける神論の構造 (III)…………… 佐々木 勝彦  
 ピシディア・アンティオキアにおける会堂説教 (使 13：16-41) の修辞学  
 的分析…………… 原口 尚彰  
 「宗教改革時代の説教」シリーズ (1)  
 ——マルティーン・ブツァー「和解説教」——…………… 出村 彰  
 America's Continuing Search for Enemies：A Review of *Hellfire Nation—The  
 Politics of Sin in American History*, by James A. Morone (Yale University  
 Press, New Haven, 2003)…………… David. N. Murchie  
 翻訳：W・パネンベルク「人間学 (3)」…………… 佐々木 勝彦  
 翻訳：W・パネンベルク「多元主義社会の文脈における法をめぐるキリス  
 ト教的諸確信」…………… 西谷 幸介  
 2003 年度 (2003.4.1 より 2004.3.31 迄) 教員業績

## 第 39 号

- キリスト教学科 40 年史刊行の辞…………… 佐藤 司郎  
 キリスト教学科 40 年史…………… 出村 彰

## 第 40 号

- キリスト教学科 40 周年論文集刊行によせて…………… 星 宮 望

- マタイ福音書における相互テキスト…………… ウルリッヒ・ルツ  
 ルターにおけるキリストの王的統治・国 (regnum Christi) の射程について  
 —ルター神学の基本概念としてのキリストの王的統治・国 (regnum  
 Christi) と信仰義認, 教会論, 公会議との関連—…………… 倉 松 功  
 神の苦難にあずかる —ボンヘッファーにおける十字架の神学—…………… 森 野 善右衛門  
 マルティン・ブーバーの <イスラエル> 理解 ……………… 北 博  
 Epigraphic Evidence on Josiah's Payment of Votive Pledge ……………… Kim, Young-Jin  
 パウロのミレトス演説の修辞学的分析 (使 20: 18-35) ……………… 原 口 尚 彰  
 カール・バルトにおける「教会と世」 —覚え書— ……………… 佐 藤 司 郎  
 基督教教育同盟会編『聖書教科書』の内容とその特質…………… 佐々木 勝彦  
 これからの日本における福音宣教像を考える…………… 松 田 和 憲  
 後退するアメリカの政治的な議論 —Middle East Illusions (Noam Chomsky  
 著者), Islam and the Myth of Confrontation—Religion and Politics in the  
 Middle East (Fred Halliday 著者), and Power, Politics, and Culture—Inter-  
 views with Edward W. Said (Gauri Viswanathan 編集者) についての書評と  
 議論…………… マーチー・デイビッド  
 ニーバー神学研究の重要視点 —歴史的現実主義…………… 西 谷 幸 介  
 2004 年度キリスト教学科教員業績  
 「宗教改革時代の説教」シリーズ (2)  
 —ジャン・カルヴァン「降誕節説教」…………… 出 村 彰

## 第 41 号

- エゼキエル書 37 章における回復思想…………… 北 博  
 Wisdom's Silence as the Ultimate Critique: An Exegetical and Ethical Evalua-  
 tion of Amos 5: 13 ……………… David N. Murchie  
 コリント教会の主の晩餐…………… 徐 重 錫  
 第一コリント書における神の問題…………… 原 口 尚 彰  
 翻訳: W・パネンベルク「人間学 (4)」…………… 佐々木 勝彦  
 「公共神学」について —歴史的文脈・基本的要件・教理的考察…………… 西 谷 幸 介  
 「宗教改革時代の説教」シリーズ (3)  
 —ジョン・ノックス「イザヤ書説教」…………… 出 村 彰

## 第 42 号

- 感謝の詞…………… 佐々木 勝彦  
 出村教授略歴・主要業績  
 祭司支配と終末論  
 —<回復> 概念をめぐる捕囚後のユダヤ共同体の葛藤…………… 北 博  
 死海写本 4Q185 と 4Q525 における幸いの宣言…………… 原 口 尚 彰  
 <記紀> の日本学的意義について…………… 西 谷 幸 介  
 Religion's "Dark Side" —A Book Review Essay (Part 1) ……………… David N. Murchie  
 2005 年度教員業績  
 翻訳: W・パネンベルク「人間学 (5)」…………… 佐々木 勝彦  
 宗教改革を神学する熊野義孝先生…………… 出 村 彰

## 第 43 号

- 死海写本における天使論と唯一神論の危機……………原 口 尚 彰  
 オリゲネスの聖書解釈における古代アレクサンドリアの文献学的伝統の影響  
 ——『マタイ福音書注解』17巻29-30を中心に……………出 村 みや子  
 スイス改革派教会の制度的展開 (2)  
 ——近代における国教会制度の修正——……………村 上 み か  
 Religion's *Dark Side* — A Book Review Essay (Part 2) …………… David N. Murchie  
 神の言はつながれていない ——バルメン宣言第六項の意味と射程……………佐 藤 司 郎  
 Report on the Annual Meetings of the American Historical Association (AHA)  
 and the American Society of Church History (ASCH) (January 5-8, 2006,  
 Philadelphia, Pennsylvania) …………… David N. Murchie  
 翻訳: W・パネンベルク『人間学 (6の1)』……………佐々木 勝 彦  
 翻訳: リチャード・ラインホルド・ニーバー『復活と歴史的理性』  
 (第1章)……………西 谷 幸 介  
 「宗教改革期の説教シリーズ」(4) —ツヴィングリ説教選……………出 村 彰

## 第 44 号

- 初期キリスト教世界における説教者と聴衆……………ポーリーン・アレン (訳: 出村みや子)  
 預言宗教としての古代イスラエル  
 ——初期イスラームとの類比的な方法の試み——……………北 博  
 スイス改革派教会の制度的展開 (3)  
 ——教会論をめぐるバルトとの対立——……………村 上 み か  
 二十年代から三十年代にかけてのバルトの教会理解  
 ——弁証法的教会理解からキリスト論的・聖霊論的教会理解へ——……………佐 藤 司 郎  
 Reflections on H. Richard Niebuhr's Theoretical Model concerning the Relationship  
 between Christianity and Culture: its Applicability to the Japanese  
 Context …………… Takaaki Haraguchi  
 Religion's *Dark Side* — A Book Review Essay (Part 3) …………… David N. Murchie  
 2006年度教員業績  
 翻訳: W・パネンベルク『人間学 (6の2)』……………佐々木 勝 彦  
 翻訳: リチャード・ラインホルド・ニーバー  
 『復活と歴史的理性——神学的方法の研究』(第2章)……………西 谷 幸 介

## 第 45 号

- 不正な富 (ルカによる福音書16章9節) についてのアウグスティヌスの説教  
 ——初期キリスト教の説教における富者と貧者の構造——  
 ……………ジェフリー・ダン (訳: 出村みや子)  
 アレクサンドリアのフィロンの幸福理解……………原 口 尚 彰  
 宗教改革期における二元論の展開 (1) ——トーマス・ミュンツァー——……………村 上 み か  
 Religion's *Dark Side* — A Book Review Essay (Part 4) …………… David N. Murchie  
 翻訳: W・パネンベルク『人間学 (7の1)』……………佐々木 勝 彦  
 翻訳: リチャード・ラインホルド・ニーバー  
 『復活と歴史的理性——神学的方法の研究』(第3,4章)……………西 谷 幸 介

## 第 46 号

- ルカ文書におけるマカリズム 幸いの宣言と物語的文脈…………… 原 口 尚 彰  
 神学者としてのヘルダー  
 ——特にそのキリスト論を中心に、ルターおよびシュライエルマッハー  
 との関連にふれて——…………… 倉 松 功
- The Ethical Dilemma of Religion-based Violence —A Book Review Essay …… David N. Murchie  
 教職研修セミナー報告
- R・ポーレン以後の説教の動向 ——聞き手の問題を中心として…………… 佐 藤 司 郎  
 現代の教会における説教の課題 ——牧師の視点から——…………… 高 橋 和 人  
 宗教改革期における説教 ——ルターの理解を中心に——…………… 村 上 み か  
 翻訳：W・パネンベルク『人間学（7の2）』…………… 佐々木 勝彦  
 翻訳：リチャード・ラインホルド・ニーバー  
 『復活と歴史的理性——神学的方法の研究』（第5,6章）…………… 西 谷 幸 介

## 第 47 号

- メンセンディーク教授を偲んで…………… 出 村 彰  
 神の民 ——旧約聖書伝承の現代化の試み——…………… 北 博  
 マタイによる福音書におけるマカリズム（幸いの宣言）…………… 原 口 尚 彰  
 宗教改革期における二元論の展開（2） ——再洗礼派——…………… 村 上 み か  
 戦争と平和 ——カール・バルトの神学的・政治的軌跡…………… 佐 藤 司 郎
- Charles Hodge (1797-1878), Scottish Common Sense Philosophy, and the  
 Human Capacity for Moral Activity …………… David N. Murchie  
 基督教教育同盟会編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』（1949-50  
 年）の内容とその特質…………… 佐々木 勝彦  
 ヘルダーのルター受容  
 ——特に『ルター小教理問答使徒信条』解説を中心に——…………… 倉 松 功

## 第 48 号

- 共に歩む神 ——フィリピン闘争神学への旧約聖書学からの応答——…………… 北 博  
 エピファニオスのオリゲネス批判  
 ——『バナリオン』64の伝記的記述の検討を中心に——…………… 出 村 みや子
- Current Thinking on the Nature of God and Christianity …………… David N. Murchie  
 基督教教育同盟会編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』（1951  
 年）と基督教学校教育同盟編『基督教主義中学校及び高等学校宗教教科書』  
 （1956-58年）の内容とその特質…………… 佐々木 勝彦
- 教職研修セミナー報告
- 新約聖書中の説教：ケリュグマとデイダケー…………… 原 口 尚 彰  
 なぜバルトは説教黙想を書かなかったのか ——説教黙想の課題…………… 佐 藤 司 郎  
 説教について思うこと…………… 保 科 隆

## 第 49 号

- 牧師カルヴァンの一ヶ月…………… エルシー・A・マッキー（出村 彰 訳）  
 神の支配と預言者…………… 北 博  
 知って行う者たちの幸い：ヨハネ 13：1-20の釈義的研究…………… 原 口 尚 彰

- 宗教改革研究における歴史的視点の導入 ——ペルト・メラ——……………村上みか  
 Report on the Annual Meeting of the American Historical Association (January  
 2-5, 2009) …………… David N. Murchie  
 基督教学校教育同盟編『キリスト教主義中学校及び高等学校聖書教科書』  
 (1959年)の内容とその特質……………佐々木勝彦

## 第50号

- 帝国支配と黙示 ——初期ユダヤ教における黙示的諸表象の形成——……………北博  
 「幸いである、見ないで信じる者たちは」：ヨハネによる福音書20：24-29  
 の積義的研究……………原口尚彰  
 The Philosophical Pursuit of Violence : A Book Review Essay …………… David Murchie
- 教職研修セミナー報告  
 若者の現実、教会の宣教……………高田恵嗣  
 内なる命と人間の連帯……………ジェフリー・メンセンディーク  
 今日の霊性 ——伝道を考えるための神学的考察……………佐藤司郎  
 翻訳：『組織神学を学ぶ人びとのために——組織神学の主要著作』(I)  
 …………… レベッカ・A・クライン, クリスティアン・ポルケ,  
 マルティン・ヴェンテ (佐々木勝彦 訳)

## 第51号

- 新約聖書におけるマカリズム (幸いの宣言) …………… 原口尚彰  
 自由主義神学におけるルター研究  
 ——歴史的考察の始まりとその限界——……………村上みか  
 教会論に立つ伝道論 ——とくにバルト『教会教義学』の線から……………佐藤司郎  
 Report on the 124<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Historical Association  
 (AHA) (January 7-10, 2010) …………… David Murchie  
 翻訳：『組織神学を学ぶ人びとのために——組織神学の主要著作』(II)  
 …………… マティアス・ノイゲバウアー,  
 マティアス・D・ヴェトリヒ (佐々木勝彦 訳)

## 第52号

- 神認識と倫理 ——ロマ1：18-32の積義的考察——……………原口尚彰  
 弁証法神学におけるルター研究  
 ——弁証的研究の再開と歴史的視点の後退——……………村上みか  
 The Social Implications of Moral Law : Charles Hodge's Perspective on the  
 Nature of Justice …………… David Murchie  
 二十年代から三十年代にかけてのバルトの教会理解 (下)  
 ——弁証法的教会理解からキリスト論的・聖霊論的教会理解へ——……………佐藤司郎  
 教職研修セミナー報告  
 東アジアの平和と日本のキリスト教  
 ——フィリピンとの関係の視点から——……………北博  
 Power, Justice, and Love : Three Catalysts for Peace …………… David Murchie  
 教会と戦争～仙台東三番丁教会の場合～……………川端純四郎



翻訳：『組織神学を学ぶ人びとのために——組織神学の主要著作』（III）

…………… ベトゥル・ガルス、レベッカ・A・クライン  
(佐々木勝彦訳)

### (七) キリスト教文化研究所「学術講演会」講演者

開催日	講師（当時所属）	演 題
1962. 6. 1	石原 謙（東京女子大学名誉教授）	日本の教会の問題
1962. 6. 2	石原 謙（東京女子大学名誉教授）	歴史神学の理解と問題
1963. 6.20	桑田 秀延（東京神学大学長）	神学の基礎と方法について
1964. 6.18	山谷 省吾（東京神学大学教授）	新約学の歴史と問題（文学部キリスト教学科開設記念学術講演会とキリスト教研究所 年次特別講演会を兼ねる）
1965. 6.24	関根 正雄（東京教育大学教授）	旧約学の現状とその問題
1966. 5.18	有賀鉄太郎（神戸女学院長）	キリスト教神秘思想の構造
1967. 6.22, 23	R.H. ベイントン（イエール大学名誉教授）	ルターとエラスムス—リベラル・カトリックとプロテスタント宗教改革
1967.11. 4	大島 清（東京大学教授）	（スライドによる）戦争の倫理とアメリカの外交政策
1969. 6. 7	A. ミラー（元イーデン神学大学教授）	アメリカの政治とキリスト教
1970. 6. 8	由木 康（青山学院大学神学科講師）	礼拝の歴史と課題
1971. 6.22	宮本武之助（東京女子大学長）	宗教哲学の可能性
1972. 5.18	斉藤 勇（東京大学名誉教授）	英文学とキリスト教 — Religious Poets of England, especially George Herbert —
1973. 6.21	左近 義慈（東京神学大学名誉教授）	聖書考古学の歴史とその問題
1974. 5.31	熊野 義孝（東京神学大学名誉教授）	神学とは何か
1975. 5.29	小林 公一（青山学院大学教授）	キリスト教教育の基本構造
1976. 6.17	山谷 省吾（東京神学大学名誉教授）	史的イエスとケリユグマのキリストの問題点
1977. 5. 3	印具 徹（広島大学教授）	聖アンセルムスにおける恩寵と自由意志の一致の問題
1978. 5.25	北森 嘉蔵（東京神学大学教授）	私の神学的モチーフ リッチル神学との関連において
1979.10.11	船水 衛司（東京神学大学教授）	旧約神学の歴史と現状
1980. 5. 8	L.J. ゲーブル（元ランカスター神学大学教授）	教会の教育的責任 The Responsibility of the Church for Education; Theological Deliberation
1981. 5.21	R.H. ベイントン（イエール大学名誉教授）	宗教改革と教育
1981. 6.11	宮本武之助（元フェリス女学院長）	キリスト教教育とは何か
1982.10. 7	K. ルーメル（上智大学教授）	激動する社会とカトリック教育理念 教育学的神学の一考察
1983 .6. 7	トム・ドライバー（ユニオン神学大学教授）	キリスト教と文化 Christianity and Diversity of Culture
1983.10.14	石井 次郎（活水女子大学・同短期大学長）	教師の諸問題
1984. 5.31	佐藤 敏夫（元東京神学大学長）	神学と教育の接点 羽仁もと子の場合
1985. 5.30	並木 浩一（国際基督教大学教授）	旧約聖書における教育
1986. 6.12	ロバート・G. ミッキー（フランクリンアンド・マーシャル大学教授）	アメリカのプロテスタントにおけるセクトの動向

1986.10. 1	ゲオルク・シュトレッカー (ゲッティンゲン大学教授)	神の愛と兄弟愛に関する聖書の使信
1986.10. 9	ゲオルク・シュトレッカー (ゲッティンゲン大学教授)	山上の説教のアンティ・テーゼ
1987. 5.28	斎藤 光 (東京大学名誉教授)	ピューリタニズムとアメリカ文学—タイロジを中心にして
1988. 5.20	A.J. マッケルウェイ (デビットソン大学教授)	バルトとティリッヒ
1988.10.28	水垣 渉 (京都大学文学部教授)	教父の学問的態度としての信仰的探究—オリゲネスの伝統における
1989.10.12	K. シュヴァルツヴェラー (ゲッティンゲン大学教授)	今日のドイツにおける福音主義神学
1990.11. 1	中川 秀恭 (大妻女子大学長・前国際基督教大学長)	人類の新しいエトスを求めて
1991.10.24	稲垣 良典 (九州大学教授)	トマス思想と現代
1992.10.29	渡辺 正雄 (前国際基督教大学教授)	近代科学とキリスト教
1993.10.22	齋藤 眞 (国際基督教大学教授)	キリスト教とアメリカ国家形成—新しきエルサレムと政教分離
1994.10.28	住谷 一彦 (東京国際大学教授)	マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の初版と再版における異同をめぐる若干の問題
1995.11.24	千葉 眞 (国際基督教大学教授)	キリスト教と現代
1996.11.29	近藤 勝彦 (東京神学大学教授)	近代世界とプロテスタンティズム
1997.11.28	金子 晴勇 (聖学院大学教授)	ルターからドイツ敬虔主義へ—宗教改革の隠れた地下水脈—
1998.11.13	古屋 安雄 (前国際基督教大学教授)	宗教改革とプロテスタンティズム—ドイツとアメリカの比較教会論—
1999.11.19	倉松 功 (東北学院大学長)	宗教改革時代の諸論争—ルターを中心にして—
2000.11.17	遅塚 忠躬 (東京都立大学名誉教授・前東京大学文学部教授)	ボワシ・ダングラース—フランス革命期のあるプロテスタントの生き方
2001.11.16	芦名 定道 (京都大学大学院助教授)	P. ティリッヒの学問体系論—神学と科学の関係をめぐる—
2002.11.29	宮田 光雄 (東北大学名誉教授)	ホロコーストの問いかけるもの
2003.11.28	安酸 敏眞 (聖学院大学教授)	現代神学におけるレッシングの影
2004.11.12	加山 久夫 (明治学院大学文学部教授)	賀川豊彦と聖書解釈
2005.12. 2	大木 英夫 (学校法人聖学院理事長・院長, 聖学院大学総合研究所長, 聖学院大学大学院長, キリスト教文化学会会長, 日本ピューリタニズム学会会長)	ピューリタニズムと自由の伝統
2006.12. 1	木田 献一 (山梨英和大学学長)	『詩編』の編集に見られる神学思想と抵抗運動
2007.11.30	松本 宣郎 (東北大学大学院文学研究科教授)	ローマ帝国のキリスト教徒
2008. 9.13	大貫 隆 (東京大学大学院総合文化研究科教授)	ユダとイエス—『ユダの福音書』によせて
2009. 9.12	ケン・バリー (マッコーリー大学シニア・リサーチ・フェロー)	蓮華と十字架—中国とインドにおける初期キリスト教遺跡 (The Lotus and the Cross : Early Christianity in China and India)
2010. 5.29	宮本 久雄 (上智大学神学部教授)	パウロにおけるソーマ的生
2012. 7.14	三原 容子 (東北公益文科大学教授)	賀川ハルの幸福な生涯に学ぶ私たちの生き方—絶望してしまいたいような社会の中で—
2013. 7. 6	佐藤 研 (立教大学文学部キリスト教学科教授)	旅とパウロ

2014. 6.14	近藤 存志 (フェリス女学院大学文学部教授)	近代イギリス芸術文化における主題としてのキリスト教
2015. 6.20	深井 智朗 (金城学院大学人間科学部教授)	エルンスト・トレルチの政治的・神学的遺産
2016.11. 5	平山 健雄 (光ステンド工房代表)	時を超えた光のメッセージ ステンドグラス
2016.11. 5	鐸木 道剛 (東北学院大学文学部教授)	東北学院の象徴としての意味の拡がり
2017. 7.29	金子 晴勇 (聖学院大学名誉教授)	宗教改革再考—キリスト教人間学の視点から—

## (八) 『キリスト教文化研究所紀要』目次 (1983年～)

### 創刊号目次

キリスト教研究所紀要の創刊に寄せて……………	情 野 鉄 雄
創刊の辞……………	倉 松 功
学 術 講 演	
キリスト教教育とは何か —キリスト教学校の教育活動について— ……	宮 本 武之助
研 究 論 文	
Kompromiss の倫理 — E. トレルチにおけるキリスト教と政治 — ……	佐々木 勝彦
研 究 ノ ー ト	
イギリスの文学に及ぼした Calvinism の影響 — Fulke Greville を中心に — ……	志子田 光雄
読 書 ノ ー ト	
J.M. ブキャナン「サマリヤ人のジレンマ」を読んで……………	赤 澤 昭 三
ルターと Straburg の教育改革 ……	倉 松 功
P. シュトールマッハー著 新約聖書の理解, 解釈学 NTD 補遺第6巻 ……	雨 貝 行 磨

### 第 2 号 目 次

学 術 講 演	
激動する社会とカトリック教育理念 —教育学的神学の一考察— ……	クラウス・ルーメル
キリスト教と文化 (Christianity and Diversity of Culture) ……	トム・ドライバー
教師の諸問題……………	石 井 次 郎

## 研究論文

- Die passio Dei bei Luther und ihre geschichtliche Stellung ..... Isao Kuramatsu  
 聖霊の発出論の現代的展開 ..... 関川 泰寛  
 近代的思维における理解について ..... 雨 貝 行 磨

## 読書ノート

- 求道者河合栄治郎について  
 — 粕谷一希「河合栄治郎」を読んで — ..... 赤 澤 昭 三  
 安藤 弘「古代ギリシアの市民戦士」 ..... 大 江 善 男

## 第 3 号 目 次

## 学 術 講 演

- 教育と神学の接点  
 — 羽仁もと子の場合 — ..... 佐 藤 敏 夫

## 研究論文

- ルターにおけるキリスト教倫理の根本問題 ..... 倉 松 功

## 研究ノート

- ギリシャ・ローマと初期キリスト教における宗教寛容  
 — P. Garnsey の報告から — ..... 松 本 宣 郎  
 キリスト教学校教育論  
 — カトリックとプロテスタントの場合 — ..... 倉 松 功  
 創造と神義論 ..... 関 川 泰 寛

## 読書ノート

- 一五二二年までのカールシュタット ..... 倉 松 功

## 第 4 号 目 次

## 研究論文

- ヨハネ福音書 12: 25-36 における伝承と編集 (I) ..... 土 戸 清  
 アウグスティヌスにおけるローマ帝国と「神の国」の理念  
 — De civitate Dei を中心として — ..... 茂 泉 昭 男  
 J. ブーゲンハーゲンの生涯, 神学とその教会形成 その 1  
 — 生誕 500 年を覚えて — ..... 倉 松 功  
 K. バルトにおける「愛」(I) ..... 佐々木 勝彦  
 イエスの譬え  
 — 言語の出来事 — ..... 雨 貝 行 磨  
 聖職者トーマス・ロバート・マルサス小伝 (I)  
 — 人口論前のマルサス周辺の人びと — ..... 赤 澤 昭 三

## 第 5 号 目 次

## 学 術 講 演

- 旧約聖書における教育…………… 並 木 浩 一  
 山上の説教…………… ゲオルク・シュトレッカー  
 佐々木勝彦訳  
 Some Sectarian Movements in American Protestantism …… ロバート・ミッキー

## 研 究 論 文

- J. ブーゲンハーゲンの生涯, 神学とその教会形成 その 2  
 — 生誕 500 年を覚えて — …… 倉 松 功

## 第 6 号 目 次

## 学 術 講 演

- 新約聖書における神と愛と人間の愛…………… ゲオルク・シュトレッカー  
 関川 泰寛訳

## 学 術 論 文

- ヨハネ福音書 12: 25-36 における伝承と編集 (II) …… 土 戸 清  
 都市の民衆と初期キリスト教徒…………… 松 本 宣 郎  
 エイレナイオスの洗礼論…………… 住 谷 眞 寛  
 アタナシウスにおける頌榮のモチーフ…………… 関 川 泰 寛  
 ルターの十字架の神学についての一考察  
 — 特にルター神学の本質・構造との関連において — …… 倉 松 功  
 St. Paul's Cross における警世説教  
 — チューダー王朝の生活文化素描 — …… 西 山 良 雄  
 「大学」は「学部」である  
 — プロテスタント・キリスト教大学の特質 — …… 雨 貝 行 磨

## 第 7 号 目 次

## 学 術 講 演

- ピューリタニズムとアメリカ文学  
 — タイポロジーを中心にして — …… 斎 藤 光  
 Barth and Tillich in Light of Contemporary Theology …… マッケルウエイ

## 研 究 論 文

- ヨハネ福音書 12: 25-36 における伝承と編集 (III) …… 土 戸 清

## 研 究 ノ ー ト

- ルターにおける各個教会の自立と長老制…………… 倉 松 功

## 読 書 ノ ー ト

- R.L. ウィルケン, 松本宣郎他訳

『ローマ人が見たキリスト教』…………… 大 江 善 男

### 第 8 号 目 次

#### 学 術 講 演

教父の学問的態度としての信仰的探求

— オリゲネスの伝統における — …………… 水 垣 渉  
ドイツの福音主義神学…………… K. シュヴァルツヴェラー

#### 研 究 論 文

Kohelet における **הבלי** …………… 永 井 義 之

#### 研 究 ノ ー ト

ルターとボンヘファー

— 両者の神学の比較検討のための覚え書 — …………… 倉 松 功

### 第 9 号 目 次

#### 学 術 講 演

人類の新しいエートスを求めて…………… 中 川 秀 恭  
これからの日本とキリスト教教育…………… 倉 松 功

#### 学 術 論 文

教育勅語と教育基本法…………… 雨 貝 行 磨

#### 研 究 ノ ー ト

ギリシャ・ローマと初期キリスト教における「夢と幻」…………… 松 本 宣 郎

### 第 10 号 目 次

#### 学 術 論 文

洗足物語伝承をめぐる諸問題

— ヨハネ福音書 13 章 1-20 節における伝承と編集 — …………… 土 戸 清

#### 学 術 講 演

トマス思想と現代…………… 稲 垣 良 典  
古代末期史研究とキリスト教徒大迫害…………… 松 本 宣 郎

#### 読 書 ノ ー ト

高橋保行「イコンのころ」

高橋保行「イコンのあゆみ」…………… 大 江 善 男

## 第 11 号 目 次

## 学 術 論 文

- イエスの告別説教 (I) と愛のいましめ  
 — ヨハネ福音書 13 章 31-38 節における伝承と編集 —…………… 土 戸 清  
 古代教会における聖餐  
 — 聖餐と信仰をめぐって —…………… 関 川 泰 寛  
 改革派の神学における「制限贖罪論」再考…………… 野 村 信

## 学 術 講 演

- 近代科学とキリスト教…………… 渡 辺 正 雄

## 第 12 号 目 次

## 学 術 論 文

- 「制限贖罪論」再考 (2)  
 — ケンドール論文とその後の影響 —…………… 野 村 信  
 J. モルトマンにおけるキリスト論の構造 (I)…………… 佐々木 勝彦  
 ローマ皇帝とキリスト教徒…………… 松 本 宣 郎

## 第 13 号 目 次

## 学 術 論 文

- 「制限贖罪論」再考 (3)  
 — カルヴァンの神学における *efficacia* —…………… 野 村 信  
 J. モルトマンにおけるキリスト論の構造 (II)…………… 佐々木 勝彦

## 第 14 号 目 次

## 学 術 講 演

- マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の位相  
 — 作品史的分析 —…………… 住 谷 一 彦

## 学 術 論 文

- J. モルトマンにおける創造論の構造 (I)…………… 佐々木 勝彦  
 Kendall's Thesis and Its Influence…………… 野 村 信  
 邪悪な農夫の譬  
 — 共観福音書とトマス福音書の比較から —…………… 竹 田 伸 一

## 第 15 号 目 次

## 学 術 講 演

- 近代世界とプロテスタンティズム…………… 近 藤 勝 彦

## 学術論文

- ギデオンの戦いは聖戦か……………佐々木 哲 夫  
 「制限贖罪論」再考(4)  
 —カルヴァン神学における贖罪論と予定論の位置(1)—……………野 村 信

## 第 16 号 目 次

## 学術講演

- シュヴェンクフェルトとルター……………金 子 晴 勇  
 ギデオン物語における戦略と戦術……………佐々木 哲 夫  
 カルヴァンの聖霊論(1)  
 —重要語「聖霊の効力」について—……………野 村 信

## 第 17 号 目 次

## 学術講演

- 宗教改革とプロテスタンティズム  
 —ドイツとアメリカの比較教会論—……………古 屋 安 雄

## 学術論文

- アビメレクの戦い……………佐々木 哲 夫  
 いわゆる「日本教」について  
 —日本の習合宗教の探究との関連で—……………西 谷 幸 介

## 第 18 号 目 次

## 学術講演

- 宗教改革時代の諸論争  
 —ルターを中心として—……………倉 松 功

## 学術論文

- 真正パウロ書簡導入部の修辞学的分析……………原 口 尚 彰  
 多神論・単一神論・唯一神論  
 —日本の習合宗教の探究との関連で……………西 谷 幸 介

## 第 19 号 目 次

## 学術講演

- ボワシ・ダングラース  
 —フランス革命期のあるプロテスタントの生き方—……………遅 塚 忠 躬

## 学術論文

- 「信仰の一致における政治的決断」とは何か……………佐 藤 司 郎



再発見されたカルヴァンのイザヤ書説教について……………野村 信

### 第 20 号 目 次

#### 学 術 講 演

P. テイリッヒと科学論の問題……………芦名 定道  
 Imputed Guilt, Imputed Righteousness : The Salvific Parallel  
 — An Exegetical and Theological Commentary on Romans 5 : 12-21 — …… David N. Murchie  
 使徒言行録の修辞学的研究 (1) : ペトロの伝道説教……………原口 尚彰

#### 学内研究フォーラム

「著者に聞く —— カントと対話する」

### 第 21 号 目 次

#### 学 術 講 演

ホロコーストの問いかけるもの……………宮田 光雄

#### 学 術 論 文

カール・バルトの「キリストの体なる教会」……………佐藤 司郎  
 使徒言行録の修辞学的研究 (2)  
 三つの助言 (審議) 演説……………原口 尚彰

#### 学内研究フォーラム

「レトリックと修辞学批評」

ギリシア・ローマのレトリック

—— 語順との関係を中心に —— ………………平田 隆一

原口尚彰氏「レトリックと使徒言行録 ——

ペトロの神殿演説を中心に」への応答……………野村 信

質 問 高橋 光一

陶 久利彦

佐藤 司郎

倉 松 功

回 答 石川 文康

著書要約 手塚 正人

### 第 22 号 目 次

#### 学 術 講 演

現代神学におけるレッシングの影……………安 酸 敏 眞  
 共同の行為としての洗礼

—— バルトの洗礼論への一視角 —— ………………佐藤 司郎

「アレオパゴス演説 (使 17 : 22b-31) の修辞学的分析」……………原口 尚彰

竹森満佐一牧師とカルヴァンの説教	野村 信
学内研究フォーラム	
「新しい世紀における世界平和」	
いわゆる「民主的平和」について	塩屋 保
平和・シャローム (שלום)・聖戦 (ジハード)	佐々木 哲夫
The Ethical Deterioration of American Public Policy Addendum to Faculty Forum Presentation on Peace (May, 2003)	David N. Murchie
理解と対話のための問い	佐藤 司郎
S・ハンティントンの「文明の衝突」論	西谷 幸介

### 第 23 号 目 次

学 術 講 演	
賀川豊彦と聖書解釈	加山 久夫
パウロの法廷演説とテルティロの弁論 (使 21.1-21; 24.2b-8; 24.10bc-21; 26.2-23)	原口 尚彰
学内研究フォーラム	
カルヴァンにおける霊性 —— 詩編注解序文を中心に	出村 彰
「理解と対話のために」	佐藤 司郎
「理解と対話のために」お答え —— 誌上討論の試み	出村 彰

### 第 24 号 目 次

学 術 講 演	
ピューリタニズムと自由の伝統	大木 英夫
ロマ書 1 章 18-32 節における神の問題	原口 尚彰
カトリック学校とキリスト教学校 —— 教育についての共同宣言は可能か ——	倉松 功
学内研究フォーラム	
「義認の教理に関する共同宣言」とルターの義認論	倉松 功
現代カトリック教会における義認の教理について	宮崎 正美
教会一致の潮流の中で：『義認に関する共同宣言』の意義	原口 尚彰

### 第 25 号 目 次

論 文	
『詩編』の編集過程に見られるシリア帝国の迫害と「受難のメシア」	木田 献一
「義認に関する共同宣言」と世界メソジスト教会協議会	倉松 功
使徒教父における幸いの宣言	原口 尚彰

## 研究フォーラム

黙示書と黙示思想	北	博
新約聖書と黙示文学・黙示思想	原	口 尚 彰
黙示文学に関する三つの質問	柏	井 宣 夫
「黙示文学と黙示思想」に関するコメント	出	村 みや子

## 第 26 号 目 次

## 論 文

ローマ帝国のキリスト教		
—— 哲学者とキリスト教徒 ——	松	本 宣 郎
教皇ベネディクト 16 世のイスラーム発言：		
キリスト教のイスラーム理解の問題	原	口 尚 彰

## 研究フォーラム

新約聖書とグノーシス	原	口 尚 彰
初期キリスト教とグノーシス主義諸派の関係をめぐって		
—— オリゲネスの聖書解釈を中心として ——	出	村 みや子
ユダヤ黙示思想・グノーシス思想・キリスト教		
—— 旧約聖書学からの研究フォーラムへのコメント ——	北	博
宗教改革期におけるグノーシスの諸相	村	上 み か

## 第 27 号 目 次

## 論 文

ユダとイエス		
—— ユダの福音書に寄せて ——	大	貫 隆
パウロにおけるマカリズム (幸いの宣言/幸福論)	原	口 尚 彰
古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (1)		
—— アレクサンドリアのクレメンスの『救われる富者は誰か』を中心に ——		
.....	出	村 みや子
神田乃武 —— その生涯と異文化の受容のことなど	小	田 三千子

## 翻 訳

アガペーとは何か (1)		
—— ジョナサン・エドワーズ (1703-58) とサミュエル・ホプキンス		
(1721-1803) の場合 ——	ステファン・G・ポスト	
	佐々木勝彦訳	

## 研究フォーラム

Christian Fundamentalism	David N. Murchie
宗教原理主義過激派の問題とその打開の道	西 谷 幸 介
イスラーム原理主義とは何か? —— その歴史的起源 ——	櫻 井 康 人

## 第 28 号 目 次

## 論 文

- アウグスティヌスの「貧困」への関わりと「心」…………… 出 村 和 彦  
 初期ユダヤ教におけるディアスポラ…………… 原 口 尚 彰  
 古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (2)  
 ——アレクサンドリアのフィロンの『観想的生活』を中心に——  
 …………… 出 村 みや子

## 翻 訳

- アガペーとは何か (2)  
 ——神の苦しみと愛の理論——…………… ステファン・G・ポスト  
 佐々木勝彦訳

## 研究フォーラム

- カトリック大学のアイデンティティとキリスト教学の可能性…………… 宮 崎 正 美  
 「キリスト教学」と「神学」  
 ——「キリスト教大学のアイデンティティとキリスト教学の可能性」の探求——  
 …………… 川 上 直 哉  
 キリスト教大学のアイデンティティとキリスト教学の可能性…………… 佐 藤 司 郎

## 第 29 号 目 次

## 論 文

- ローマ支配下のテサロニケ：パウロの宣教の宗教史的考察…………… 原 口 尚 彰  
 古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (3)  
 ——「神学の侍女 (ancilla theologiae)」としての哲学の位置付けをめぐって——  
 …………… 出 村 みや子  
 羽仁もと子と教育 —— 宗教教育のことなど …………… 小 田 三 千 子

## 翻 訳

- アガペーとは何か (3)  
 ——交わりと真の自己愛——…………… ステフェン・G・ポスト  
 佐々木 勝 彦 訳

## 研究フォーラム

- 貧困と清貧 —— いま賀川豊彦を考える ——…………… 加 山 久 夫

## 第 30 号 目 次

## 論 文

- フィリピ書の統一性問題と書簡論的分析…………… 原 口 尚 彰  
 古代アレクサンドリアにおけるヘレニズムとヘブライズムの出会いと多文化主義  
 …………… 出 村 みや子

## 翻 訳

救済史的神学の展開

—— 思弁と聖書解釈 —— …………… シャロッテ・ケッカート, エヴァ・ハラスタ  
佐々木 勝 彦訳

## 研究フォーラム

杉山元治郎と宮澤賢治

—— 宗教的遍歴と甲種農学校出身者としての使命感 —— (一)…………… 岩 本 由 輝

## 第 31 号 目 次

## 論 文

ディアスポラ書簡としての初期キリスト教書簡…………… 原 口 尚 彰

説教者 (homilist) としてのオリゲネス …………… 出 村 みや子

賀川ハルの幸福な生涯に学ぶ私たちの生き方

—— 絶望してしまいそうな社会の中で —— …………… 三 原 容 子

## 研究フォーラム

ドイツ宗教改革と神秘主義

—— ルター, カールシュタット, ミュンツァー —— …………… 村 上 み か

ジュネーヴの宗教改革

—— カルヴァンの採用した神学の方法 —— …………… 野 村 信

スコットランド宗教改革の特質…………… 原 田 浩 司

## 第 32 号 目 次

## 論 文

アガペーとしてのフィリア: ヨハネ福音書における友愛の主題

…………… 原 口 尚 彰

初期キリスト教における男性と女性の理解

—— 古代アレクサンドリアの聖書解釈の伝統を中心に ——

…………… 出 村 みや子

## 研究フォーラム

闇から光へ

—— 体験的キリスト教美術論 —— …………… 渡 辺 総 一

## 第 33 号 目 次

## 論 文

新約聖書の生命観…………… 原 口 尚 彰

## 学術講演

近代イギリス芸術文化における主題としてのキリスト教…………… 近藤 存志

## 翻 訳

禁欲主義的神学者としてのオリゲネス

—— 四世紀の教会における正統と権威 ——

…………… J・レベッカ・ライマン (出村みや子訳)

## 書 評

The Destructive Nature of Capitalism : A Book Review Essay on *Capitalism* :

*A Structural Genocide*, by Gary Leech …………… David Murchie

## 第 34 号 目 次

## 論 文

I ペトロ書の主題

—— I ペトロ書 1 章 1-2 節に関する考察 —— …………… 吉 田 新

## 学術講演

エルンスト・トレルチの神学的であり、政治的である遺産…………… 深井 智朗

## 研究フォーラム

カンタベリーのアンセルムスのスピリチュアリティ…………… 矢内 義顕

## 研究ノート

山下りんとルオー：近現代キリスト教美術研究序説 …………… 鐸 木 道 剛

## (九) キリスト教文化研究所「キリスト教文化講座」

## 1 回

1982.10.26 大江 善男 (文学部教授)  
志子田光雄 (文学部教授)

ギリシャ古典文化と聖書  
シェイクスピアとキリスト教—ハムレットを  
中心として—

1982.10.29 土戸 清 (文学部教授)  
倉松 功 (文学部教授)

スライドと講演、聖書の世界と歴史—イエスの  
生涯とその時代 I—  
戦後日本のキリスト教

1982.11. 2 出村 彰 (文学部教授)  
小笠原政敏 (文学部教授)

目で見える宗教改革—スライドによるツヴィン  
グリの生涯  
日本的キリスト教

1982.11. 5 赤沢 昭三 (経済学部教授)

現代経済とキリスト教—高齢化社会を迎えて  
—

## 2 回

1983.10.18 W・C・メンセンディク (文学部教授)  
土戸 清 (文学部教授)

教育と宗教—キリスト教主義学校からの展望  
—  
聖書の世界と歴史—イエスの生涯とその時代  
II—

- 1983.10.25 大江 善男 (文学部教授)  
加藤 孝 (文学部教授)  
志子田光雄 (文学部教授)
- 1983.10.28 出村 彰 (文学部教授)  
志子田光雄 (文学部教授)
- 1983.11. 1 倉松 功 (文学部教授)
- 3 回**
- 1984.10.23 土戸 清 (文学部教授)  
大江 善男 (文学部教授)
- 1984.10.26 赤沢 昭三 (経済学部教授)
- 小笠原政敏 (文学部教授)
- 1984.10.30 雨貝 行麿 (教養部教授)
- 倉松 功 (文学部教授)
- 1984.11. 2 志子田光雄 (文学部教授)
- 加藤 孝 (文学部教授)
- 4 回**
1985. 9.27 倉松 功 (文学部教授)  
W・C・メンセンディク
- 1985.10. 1 雨貝 行麿 (教養部教授)  
小笠原政敏 (文学部教授)
- 1985.10. 4 赤沢 昭三 (経済学部教授)
- 土戸 清 (文学部教授)
- 1985.10. 8 志子田光雄 (文学部教授)
- 佐々木勝彦 (文学部助教授)
- 5 回**
- 1986.10. 3 土戸 清 (文学部教授)  
関川 泰寛 (教養部講師)
- 1986.10. 7 松本 宣郎 (東北大学文学部助教授)  
志子田光雄 (文学部教授)
- 1986.10.14 大江 善男 (文学部教授)
- 倉松 功 (文学部教授)
- 1986.10.17 西山 良雄 (文学部教授)
- 小笠原政敏 (文学部教授)
- ギリシャの神々  
近世日本とキリスト教  
ミルトンの「失樂園」—「予定」・「自由意思」・  
「幸いなる罪」を中として  
カルヴァンとその後継者たち  
ミルトンの『失樂園』ミルトンの「失樂園」  
—「予定」・「自由意思」・「幸いなる罪」を中と  
して  
宗教改革の現代的意義—ルター生誕 500 年記  
念  
聖書の世界—パウロの回心とキリスト理解—  
最初の邦訳聖書周辺  
ロバート・マルサスとキリスト教—没後 150  
年記念—  
東北学院とキリスト教  
キリストについての海老名弾正・植松正久の  
論争  
宗教革命の時代におけるキリスト理解をめぐる  
論争  
ジョン・バニヤンとピューリタニズム—『天  
路歷程』を中心に—  
東北学院と海外伝道  
宗教改革—中世から宗教改革へ—  
東北地方最初の伝道—宣教師を中心に  
祈りかつ働き—中世修道院の理念  
近世教会史—イギリス宗教改革とピューリ  
タン—  
マルサスの「自然神学」—人口原理を中心に  
して—  
スライドと講演「聖書の世界と歴史」——聖  
書の時代の信仰と生活  
現代詩にみる現代的的精神状況—T・S・エリオッ  
トを中心に  
世界開放性と神開放性  
創造物語伝承と新約聖書  
古代教会におけるキリストの理解をめぐる論  
争  
初期キリスト教徒とローマ教会  
悲劇とカルヴィニズム—道徳劇から「ファウ  
スト博士」への道—  
もう一つのキリスト教—宮城県のギリシア正  
教—  
宗教改革の始め—「九五箇条の提題」と「四一  
項目のルター断罪勅書」—  
十六世紀英国の警世説教—ファッションから  
金融業まで—  
ピューリタニズムと日本のプロテスタント教  
会

## 6回

- 1987.10. 6 佐々木勝彦 (文学部教授) 祈りの世界  
赤沢 昭三 (経済学部教授) 聖書における経済論
- 1987.10. 9 土戸 清 (文学部教授) 新約聖書の『誓え』と『寓諭』—イエスの教えを中心に  
小笠原政敏 (文学部教授) アメリカピューリタニズムと日本プロテスタント
- 1987.10.13 倉松 功 (文学部教授) 六七箇条の提題—ツヴィングリとスイス宗教改革のはじめ  
雨貝 行麿 (教養部教授) イエスさまのたとえ話
- 1987.10.16 W・C・メンセンディク (文学部教授) キリスト教と仏教との新しい出会い  
西山 良雄 (文学部教授) シェークスピア時代のロンドンの庶民生活

## 7回

- 1988.10. 7 倉松 功 (文学部教授) 十字架の神学と愛—ハイデルベルク討論をめぐって—  
1988.10.11 大江 善男 (文学部教授) 教会史に現れた明治の人々  
1988.10.14 土戸 清 (文学部教授) 福音書の魅力とその解釈—一世紀のユダヤ人の歴史と関連において—講演とスライド  
1988.10.18 関川 泰寛 (教養部助教授) 現代のイギリス神学の動向

## 8回

- 1989.10.20 土戸 清 (文学部教授) 福音書の魅力とその解釈—イエスのエルサレム入都と受難記事をめぐって  
1989.10.24 西山 良雄 (文学部教授) ピューリタン革命前のロンドンと外国人対策  
1989.10.27 W・C・メンセンディク (文学部教授) 外国人による伝道の時代以後のインドの農村地域とのキリスト教的出会い  
1989.10.31 倉松 功 (文学部教授) 宗教改革者たちの聖書解釈  
1989.11. 2 茂泉 昭男 (文学部教授) アウグスティヌスを読む

## 9回

- 1990.10. 2 西山 良雄 (文学部教授) 詩人説教者ジョン・ダンの生涯  
1990.10. 5 雨貝 行麿 (教養学部教授) 神様は偉大な数学者  
1990.10. 9 永井 義之 (教養学部講師) 自然—旧約の創造物語を媒介として  
1990.10.12 大江 善男 (文学部教授) 医聖—ヒポクラテス  
1990.10.16 住谷 真 (教養学部講師) アシジの聖フランシスと自然

## 10回

- 1991.10. 1 土戸 清 (文学部教授) ギリシャ・ローマ時代のユダヤ人社会とキリスト教  
1991.10. 4 佐々木勝彦 (文学部教授) 『祈り』を読む  
1991.10. 8 松本 宣郎 (東北大学文学部教授) 初期キリスト教における群像  
1991.10.11 出村 彰 (文学部教授) ツヴィングリにおける礼拝の改革  
1991.10.15 加藤 孝 (文学部教授) 南米ブラジルの日本力行会—特にアリアンサコローニアについて

## 11回

- 1992.10. 2 土戸 清 (文学部教授) 聖書の時代のユダヤ教とキリスト教—パレスティナにおける「異教」の問題  
1992.10. 6 倉松 功 (文学部教授) ルターのイスラム教批判  
1992.10. 9 永井 義之 (教養学部准教授) テーゼ共同体の挑戦  
1992.10.13 赤沢 昭三 (経済学部教授) 牧師ロバート・マルサスの教師たち  
1992.10.16 関川 泰寛 (教養学部助教授) 古代教会における正統と異端



## 12回

- 1993.10. 8 土戸 清 (文学部教授) 聖書と歴史—使徒パウロの回心と史的—断面—
- 1993.10.12 松本 宣郎 (東北大学文学部教授) 古代キリスト教とローマ社会
- 1993.10.15 佐々木哲夫 (教養学部助教授) 聖書の解釈と翻訳—「心の貧しい者」をめぐって
- 1993.10.19 西山 良雄 (文学部教授) 近世英国における祝祭日と娯楽の変遷
- 1993.10.21 関川 泰寛 (教養学部助教授) 古代教会と基本信条の成立

## 13回

- 1994.10.7 土戸 清 (文学部教授) 一世紀のユダヤ教とキリスト教—聖書におけるアンティ・セミティズムの問題—
- 1994.10.11 志子田光雄 (文学部教授) 『沈黙』を解く—遠藤周作とキリスト教文学—
- 1994.10.14 関川 泰寛 (教養学部助教授) 聖霊の信仰—古代教会の聖霊論をめぐって—
- 1994.10.18 野村 信 (教養学部講師) 近代的社会福祉の始まり—ジュネーブにおけるカルヴァンの改革—
- 1994.10.21 佐々木哲夫 (教養学部助教授) モーセの十戒を読む

## 14回

- 1995.10.13 土戸 清 (文学部教授) 初期キリスト教とユダヤ教—最近の聖書学研究との関連から—
- 1995.10.17 倉松 功 (文学部教授) ルターにおける「自由」とその歴史的意味
- 1995.10.20 D・マーチー (文学部教授) キリスト教信仰における理性の役割—現代キリスト教弁証学の研究—
- 1995.10.24 永井 義之 (教養学部助教授) 創世記 (第六章—第九章) 洪水物語を読む
- 1995.10.27 関川 泰寛 (教養学部助教授) ギリシア教父の霊性と信仰

## 15回

- 1996.10.18 土戸 清 (文学部教授) 初期キリスト教とパレスティナのユダヤ人共同体—イエスの宣教とユダヤ人社会—
- 1996.10.22 野村 信 (教養学部助教授) カルヴァンの「祈り」について—自由祈?の原型—
- 1996.10.25 倉松 功 (文学部教授) ルターにおける宗教—元論・原理主義者
- 1996.10.29 西山 良雄 (文学部教授) 誰の為にあの鐘は鳴っているのか—ジョン・ダンの甲鐘論を考える—
- 1996.11. 1 佐々木哲夫 (教養学部助教授) 正戦から聖戦へ—旧約聖書の「戦争」に関する研究小史—

## 16回

- 1997.10.17 土戸 清 (文学部教授) 初期キリスト教とユダヤ人共同体—ヨハネ福音書と三通の手紙の著者は誰か?: 初期キリスト教史の一断面—
- 1997.10.21 永井 義之 (教養学部助教授) 「神の箱」の謎
- 1997.10.24 倉松 功 (文学部教授) ルター『マリアの賛歌』を共に読む
- 1997.10.28 D・マーチー (文学部教授) 言葉とイメージ—現代の問題—
- 1997.10.31 志子田光雄 (文学部教授) 愛の神秘主義—雅歌の系譜を引く詩を読む—

## 17回

- 1998.10.16 土戸 清 (文学部教授) 史的イエスと洗礼者ヨハネの実像—初期キリスト教の歴史と福音書記者たち—
- 1998.10.20 赤沢 昭三 (経済学部教授) トーマス・ロバート・マルサスの「道徳的抑制論」について
- 1998.10.23 倉松 功 (文学部教授) 「M・ルター『善きわざについて』一五二〇」を共に読む
- 1998.10.27 佐々木哲夫 (教養学部教授) 士師たちの戦い

- 1998.10.30 西谷 幸介 (文学部教授) 日本的習合宗教とキリスト教—単一神論と唯一神論—
- 18回**
- 1999.10.15 土戸 清 (文学部教授) 聖書の奇跡と地中海世界—初期キリスト教の歴史における福音書記者たちのイエス理解—
- 1999.10.19 西山 良雄 (文学部教授) 回想と黙想—アミッシュ村の「簡素・純朴」の源流を探る—
- 1999.10.22 佐藤伊久男 (文学部教授) 「教会」と諸国家—ヨーロッパの理解をめぐって—
- 1999.10.26 佐藤 司郎 (文学部教授) バルメン宣言の教会論—第三項, 第五項のテキストを読む—
- 1999.10.29 西谷 幸介 (文学部教授) 生命倫理の諸問題—キリスト教の視点から—
- 19回**
- 2000.10.17 西谷 幸介 (文学部教授) キリスト教神学と自然科学—創造の神学と生態学的危機—
- 2000.10.20 志子田光雄 (文学部教授) 英国教会史と大聖堂
- 2000.10.24 原口 尚彰 (文学部教授) pistis の翻訳史的・文化史的考察
- 2000.10.27 楠 義彦 (文学部助教授) 魔女狩りと宗教改革思想
- 2000.10.31 佐々木哲夫 (教養学部教授) 士師記と戦争—ベニヤミン族への報復とタリオの原則 (士師記一九～二一章)—
- 20回**
- 2001.10.16 西谷 幸介 (文学部教授) 人権とキリスト教
- 2001.10.19 D・マーチー (文学部教授) William Wiberforce: 奴隷制度廃止論者と道徳改革者
- 2001.10.23 永井 義之 (教養学部助教授) ヨブ記—神顕現はいかなる解決をもたらしたか (三八章～四二章)
- 2001.10.26 平田 隆一 (文学部教授) 古典古代文化とキリスト教
- 2001.10.30 原口 尚彰 (文学部教授) 二一世紀の賛美の歌をめざして—『讚美歌二一』の神学的検討
- 21回**
- 2002.10.15 出村 彰 (文学部教授) 寛容の求め—カステリョの場合
- 2002.10.18 秋葉 勉 (教養学部教授) キリスト教とアメリカ分学
- 2002.10.22 雨貝 行麿 (教養学部教授) 「若松賤子」と「巖本嘉志」—『小公子』翻訳者をどう理解するか—
- 2002.10.25 佐藤 邦廣 (経済学部教授) 教会形成と経営学—キリスト教的自由の意味と教会形成における位置について—
- 2002.10.29 星宮 務 (工学部教授) キリスト教と自然学
- 22回**
- 2003.10.14 佐々木勝彦 (文学部教授) キリスト教は『敵を作る宗教』か?—「問い」としての環境考古学
- 2003.10.17 長島 慎二 (工学部助教授) 乱れと摂理
- 2003.10.21 保坂 和男 (経済学部教授) スチュワードシップ
- 2003.10.24 野村 信 (教養学部助教授) 母国語訳聖書の始まり: ラインダール英訳 (一五二二), ルター独訳 (一五三四), オクヴェッタン仏訳 (一五三五)
- 2003.10.28 原口 尚彰 (文学部教授) 「申命記の教育思想」
- 23回**
- 2004.10.15 平河内健治 (文学部教授) 静かな, かそけき声を聴く—フォーカシングのすすめ—
- 2004.10.19 佐藤 司郎 (文学部教授) ボンヘッフアーの平和説教を読む

- 2004.10.22 森 美智子 (教養学部教授) 「天使の御業」—東北学院大学図書館蔵ファクシミリ版ケルト系彩飾写本をめぐって—『ケルズの書』を中心に
- 2004.10.26 長谷川信夫 (工学部教授) 歴史の中の環境問題
- 2004.10.29 佐々木哲夫 (教養学部教授) 旧約聖書を読む方法—士師記を題材にして—
- 24 回**
- 2005.10.14 原口 尚彰 (文学部教授) 人はどのようにして神を知ることが出来るか? : パウロにおける神認識の問題
- 2005.10.18 仁昌寺正一 (経済学部教授) 鈴木義男と東北学院—東北大学教授時代を中心に—
- 2005.10.21 北 博 (文学部教授) ダニエル書の謎
- 2005.10.25 櫻井 康人 (文学部講師) 十字軍と結婚
- 2005.10.28 星宮 望 (東北学院大学長) 精緻巧妙な神経・筋系のはたらき
- 25 回**
- 2006.10.17 原 征明 (経済学部教授) 初期中世北欧におけるキリスト教受容の意味について
- 2006.10.20 出村みや子 (文学部助教授) 古代アレクサンドリアの文献学的伝統とオリゲネスの聖書解釈
- 2006.10.24 仁昌寺正一 (経済学部教授) 鈴木義男と東北学院—弁護士時代を中心に—
- 2006.10.27 小田三千子 (教養学部教授) ある明治の女性啓蒙家と教育—羽仁もと子を中心に—
- 2006.10.31 原口 尚彰 (文学部教授) 文学としての聖書 (1) : 旧約聖書の詩文
- 26 回**
- 2007.10.16 原口 尚彰 (文学部教授) 文学としての聖書 (2) : エレミヤに見る預言者の職務と個人の相克の問題
- 2007.10.19 箭川 修 (文学部教授) John Milton の生涯と作品
- 2007.10.23 村上 みか (文学部准教授) 宗教改革成立の歴史
- 2007.10.26 仁昌寺正一 (経済学部教授) 弁護士時代の鈴木義男—河上肇の弁護—
- 2007.10.30 長島 慎二 (工学部准教授) つむじ風の科学
- 27 回**
- 2008.10.14 佐々木勝彦 (文学部教授) 『詩編』を読む
- 2008.10.17 北 博 (文学部教授) ゼカリヤ書 1-8 章とメシアの謎—捕囚後初期のユダヤ共同体に何が起こったか—
- 2008.10.21 仁昌寺正一 (経済学部教授) 鈴木義男と吉野作造
- 2008.10.22 小田三千子 (元教養学部教授) 神田乃武—その生涯と異文化の受容
- 2008.10.24 出村みや子 (文学部准教授) 古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (1) アレクサンドリアのクレメンスの「救われる富者は誰か」を中心に
- 28 回**
2009. 5.23 佐々木勝彦 (文学部教授) 『詩編 143』を読む
2009. 5.23 D. マーチー (文学部教授) 「エステル記を読む」—その倫理性の問題—
2009. 5.25 仁昌寺正一 (経済学部教授) 弁護士時代の鈴木義男—平凡社大百科事典への執筆—
2009. 5.30 出村 和彦 (岡山大学准教授) アウグスティヌスの「貧困」への関わりと内面化
2009. 5.30 出村みや子 (文学部准教授) 古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (2) アレクサンドリアのフィロンの「観想的な生活」を中心に

## 29回

- |            |                |   |
|------------|----------------|---|
| 2010. 5. 8 | 出村みや子 (文学部准教授) | 古代アレクサンドリア神学における貧困と富の理解 (3) —「神学の侍女」としての哲学の位置づけをめぐって— |
| 2010. 5. 8 | 野村 信 (教養学部教授)  | 存在の深みへ—テキストと原テキスト—…対象の深奥へ迫る取り組み…                      |
| 2010.5.22  | 佐々木勝彦 (文学部教授)  | 『ヨブ記』を読む  |
| 2010.5.22  | 小田三千子 (本学名誉教授) | 羽仁もと子と教育—宗教教育のことなど                                    |
| 2010.5.24  | 仁昌寺正一 (経済学部教授) | 新聞記事で見る草創期の東北学院                                       |